施策名:マーケットインの商品(もの)づくりの加速

		0 28
事業名	担当課・室名	ページ
GAP認証農場拡大推進事業	地域農業振興課	1 / 7
The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業	おおいたブランド推進課	1 / 7
県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業	おおいたブランド推進課	1 / 7
畜産農場HACCP等認証取得推進事業	畜産振興課	1 / 7
おおいた材プロモーション活動支援事業	林産振興室	2 / 7
しいたけ消費拡大推進事業	林産振興室	2 / 7
県産水産物流通拡大推進事業	漁業管理課	2 / 7
6次産業化サポート体制整備事業	おおいたブランド推進課	2 / 7
木造建築物等建設促進総合対策事業	林産振興室	3 / 7
間伐材等安定供給推進事業	森林整備室	3 / 7
有機農産物生産流通拡大推進事業	地域農業振興課	3 / 7
「おおいたの有機」産地づくり加速化事業	地域農業振興課	3 / 7
食品企業連携産地拡大推進事業	おおいたブランド推進課	4 / 7
活力あふれる園芸産地整備事業	園芸振興課	4 / 7
牛乳消費拡大推進事業	畜産振興課	4 / 7
県産豚「米の恵み」競争力強化対策事業	畜産振興課	4 / 7
おおいた冠地どり流通拡大対策事業	畜産振興課	5 / 7
酪農経営生産性向上対策事業	畜産技術室	5 / 7
第15回全日本ホルスタイン共進会対策事業	畜産技術室	5 / 7
草地畜産基盤整備事業	畜産技術室	5 / 7
養豚競争力強化対策事業	畜産技術室	6 / 7
林業再生県産材利用促進事業	林産振興室	6 / 7
しいたけ増産体制整備総合対策事業	林産振興室	6 / 7
森林認証材供給体制整備事業	林産振興室	6 / 7
ブリ類養殖業成長産業化推進事業	水産振興課	7 / 7
農林水産物輸出需要開拓事業	おおいたブランド推進課	7 / 7

									T-101 T- >IC	1 1 Imi	和几千皮	77.120
No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度 令和2年	度 成 果 指 標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
	GAP認証農場拡大推進事業	①JGAP指導員の育成	JGAP指導員育成数	目標値	20	50	GAP認証農家数	目標値	181	187		
	(H29 ~ R1) 地域農業振興課	6, 929		実績値	42	54		実績値	229	242		A
	マーケットから求められる農産物の安全・安	② J G A P 認証取得費に対す る補助	[]	達成率	210, 0%	108.0%	一] 達成率	126, 5%	129. 4%		
	心を確保するため、生産者の事業展開に応じた	る袖め 1,571	GAP補助 (支援) 農場数		15	15	事業の	成果	· 今			針
1	GAP認証取得を支援するとともに、国のガイドラインに準拠した大分県版GAPを推進す	③大分県版GAP認証制度の	1110 71 (2 1424) 74 31 32	実績値	100	40	GAP指導員の育成強	,,,				-,
1	トノインに準拠した人分景版GAPを推進り る。	実施	[農坦	達成率	666, 7%	266. 7%	の生産者が認証を取得す 躍進するとともに、ドリ					
	- 0	1,346 ④GAPセミナーの開催	GAPセミナー開催回数	目標値	1	1	GAP研究会)を立ち上	げる等JGA	AP認証を推済	進した。		
	予算 9,808 13,124	87	OTT CV/ MIELISM	実績値	0	3	一 今後は、食品衛生法改 の取引要件への対応等を					
	決算 8,808 11,122		ſ	達成率	0.0%	300.0%	一ため、令和2年度から「					1矢りつ
	(人 昇		L H	」達成华	0.0%	300.0%						
No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度 令和2年	度成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
	The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業	①県産農林水産物の流通販売	県外でのトップセールス回	目標値	6	4	4 園芸戦略品目でシェ	目標値	11	11	11	
	(H28 ~ R3) おおいたブランド推進課	戦略を立案推進する流通対	数	実績値	7	7 -	ア1位の拠点市場数	実績値	10	10	_	в
	拠点市場における県産農林水産物のシェア拡	策本部の活動、情報発信等 15,566	申	達成率	116. 7%	175.0% —			90. 9%	90. 9%		1 - 1
	大を図るため、総合的な情報発信を行うととも	15,500	農産及び食品企業担当マー	目標値	100	100 10		成果	· 今		1	針
2	に、マーケットニーズに対応した販路開拓・販売の世に	行う大分県カボス振興協議	ケターによる商談回数	実績値	171	128 —	園芸戦略品目14品目の	,,,	,			
	売促進に取り組む。	会に対する負担金	Гін	達成率	171.0%	128.0% -	— ら(2)、自ねぎ(2)、こね	ぎ(1)、高糖	度かんしょ(1	1)、かぼす((1)の10市場と	なっ
	区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度	3, 250	情報発信回数	目標値	40	40 4	/に。 - 合後は、青果物の卸売	市場等への軸	前送拠点となる	る大分青果っ	センターを軸と	とした
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		旧 秋元 旧 四 数			74 -	農産物流通体制の整備等	を図ることに	こより、拠点で	市場数への信	共給拡大を図~	ってい
				実績値 達成率	41 102, 5%		<.					
	決 算 20,644 23,539 -			1 1 2 2	102.5%	185.0% —						
			L	X 1-70 1	102.070	100.000						
No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	活動指標			令和元年度 令和2年	度成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
No.	1 111 11 111 111 111	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度 令和2年	度 成 果 指 標 ベリーツ作付面積				令和2年度	評価
No.	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業	①県内外での各種メディアを 活用した情報発信や販促活		達成度目標値	平成30年度 66.7	令和元年度 令和2年 100.0	24 771 TI TH D41	目標値	20.0	45. 0	令和2年度	
No.	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課	①県内外での各種メディアを 活用した情報発信や販促活 動の強化	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペ リーツ生産者数	達成度 目標値 実績値	平成30年度 ⁴ 66.7 73.8	令和元年度 令和2年 100.0 65.7	ベリーツ作付面積	目標値実績値	20. 0	45. 0 12. 7		評価 D
No.	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケッ トニーズに対応した県オリジナル新品種「ベ	①県内外での各種メディアを 活用した情報発信や販促活 動の強化 24,423	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペ リーツ生産者数 [%	達成度 目標値 実績値 達成率	平成30年度 ⁴ 66.7 73.8 110.6%	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7%	ベリーツ作付面積 	目標値 実績値 達成率	20. 0 7. 0 35. 0%	45. 0 12. 7 28. 2%	5	D
No.	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベ リーツ」への品種転換を支援するとともに、県	①県内外での各種メディアを 活用した情報発信や販促活動の強化 24,423②モデルほ場の設置、モニタ リングシステムの導入支援	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペ リーツ生産者数	達成度 目標値 実績値 達成率 目標値	平成30年度 66.7 73.8 110.6%	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7%	ベリーツ作付面積	目標値 実績値 達成率 成 果	20.0 7.0 35.0%	45. 0 12. 7 28. 2%	の方	D 針
No. 3	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケッ トニーズに対応した県オリジナル新品種「ベ	①県内外での各種メディアを 活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタ リングシステムの導入支援 等	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペ リーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数	達成度值 実績 目標値 実績値	平成30年度 66.7 73.8 110.6% 8	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18	ベリーツ作付面積 	目標値 実績値 達成率 成 果 を持ち、生産	20.0 7.0 35.0% ・ 今 産者数や導入i	45.0 12.7 28.2% 後 面積は目標は	の 方 C達していない	D 針いが、
No.	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。	①県内外での各種メディアを 活用した情報発信や販促活動の強化 24,423②モデルほ場の設置、モニタ リングシステムの導入支援	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペ リーツ生産者数 「% ベリーツ加工品の新商品数 [累計:品	達目実達 目実績 成標値 率値 値率	平成30年度 66.7 73.8 110.6% 8 11 137.5%	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5%	ベリーツ作付面積 [累計:ha 事業の 生産者が技術面で不安	目標値 実績値 達成率 成 果 を持ち、生態 売、年内収量	20.0 7.0 35.0% ・ 今 産者数や導入 量と果実品質(45.0 12.7 28.2% 後 面積は目標に の高さからす	の 方 こ達していない 物待は高まって	か いが、
No. 3	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度	①県内外での各種メディアを 活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタ リングシステムの導入支援 等	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペ リーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数	達目 実達目 実達成 標値 率値 値率値	平成30年度 66.7 73.8 110.6% 8 11 137.5% 140	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5%	ベリーツ作付面積 「果計: ha 事業の 生産者が技術面で不安PR効果による高単価販合。 ク和2年度からは「ベた対策及びギフト・高級	目標値 実績値 達成 果 を持ち、中の型 リーツリ門店が リーツリ門店が	20.0 7.0 35.0% ・ 今 産者数や導入に 量と果実品質の ランド確立の などへの流通	45.0 12.7 28.2% 後 面積は目標に か高さから身	の 方 こ達していない 期待は高まって 質・安定生産	か いだいに向け
No. 3	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業(H30~R1)おおいたブランド推進課いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。区分平成30年度令和元年度令和2年度予算26,30630,025	①県内外での各種メディアを 活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタ リングシステムの導入支援 等	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペリーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数 [累計:品 ベリーツのさがほのかに対する販売単価差額	達目実達目実達目実達目実績成標値率	平成30年度 66.7 73.8 110.6% 8 11 137.5% 140 209	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5% 140 175	ベリーツ作付面積 [累計: ha 事業の 生産者が技術面で不安 PR効果による高単価販る。 令和2年度からは「ベ	目標値 実績値 達成 果 を持ち、中の型 リーツリ門店が リーツリ門店が	20.0 7.0 35.0% ・ 今 産者数や導入に 量と果実品質の ランド確立の などへの流通	45.0 12.7 28.2% 後 面積は目標に か高さから身	の 方 こ達していない 期待は高まって 質・安定生産	か が、ていに向け
No. 3	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度	①県内外での各種メディアを 活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタ リングシステムの導入支援 等	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペリーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数 [累計:品 ベリーツのさがほのかに対する販売単価差額	達目 実達目 実達成 標値 率値 値率値	平成30年度 66.7 73.8 110.6% 8 11 137.5% 140	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5%	ベリーツ作付面積 「果計: ha 事業の 生産者が技術面で不安PR効果による高単価販合。 ク和2年度からは「ベた対策及びギフト・高級	目標値 実績値 達成 果 を持ち、中の型 リーツリ門店が リーツリ門店が	20.0 7.0 35.0% ・ 今 産者数や導入に 量と果実品質の ランド確立の などへの流通	45.0 12.7 28.2% 後 面積は目標に か高さから身	の 方 こ達していない 期待は高まって 質・安定生産	針 いが、 てい に向け
No.	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業(H30~R1)おおいたブランド推進課いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。区分平成30年度令和元年度令和2年度予算26,30630,025決算25,84329,668	①県内外での各種メディアを 活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタ リングシステムの導入支援 等	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペリーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数 [累計:品 ベリーツのさがほのかに対する販売単価差額	達目実達目実達目実達成標値率	平成30年度 66.7 73.8 110.6% 8 11 137.5% 140 209 149.3%	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5% 140 175	ペリーツ作付面積 「累計: ha 事業の 生産者が技術面で不安PR効果による高単価販令和2年度からは「ベース対策及びギフト・高級リーツ」ブランド確立対	目標値 実績率 成果 成を持ち、内収量 リーツリ門店が リーツリーのでは リーツリーのでは リーツリーのでは リーツリーのでは リーツリーのでは リーツリーのでは リーツリーのでは リーツリーのでは リーツ・リーのでは リーので り リーので リーので リーので リーので リーので リーので リーので リーので	20.0 7.0 35.0% ・ 今 産者数や導入i 量と果実品質で ランド確立のi などへの流通 実施する。	45.0 12.7 28.2% 後 面積は目標に か高さから身	の 方 こ達していない 期待は高まって 質・安定生産 を実施する『	か いが、 いが、 てい に向け 「べ
No.	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業(H30~R1)おおいたブランド推進課いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。区分平成30年度令和元年度令和2年度予算26,30630,025	 ①県内外での各種メディアを活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタリングシステムの導入支援等 4,959 	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペリーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数 [累計:品 ベリーツのさがほのかに対する販売単価差額	達目実達目実達目実達成標値率	平成30年度 66.7 73.8 110.6% 8 11 137.5% 140 209 149.3%	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5% 140 175 125.0%	ベリーツ作付面積 「果計: ha 事業の 生産者が技術面で不安 PR効果による高単価販 る。 令和2年度からは「ベ た対策及びギフト・高級 リーツ」ブランド確立対 リーツ」ブランド確立対 度成果指標 機場HACCPおよびJGAP家	目実施成果 連成果を売、以上の で表示し、中国の である。 である。 である。 である。 である。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	20.0 7.0 35.0% ・ 今 養者数や導入に 量と果実品質の ランド確立の などへの流通 実施する。	45.0 12.7 28.2% 後 面積は目標は の高さからす ため、高品 い ・販売対策を	の 方 こ達していない 朝待は高まって 質・安定生産に を実施する『	かいい に向け
No.	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 26,306 30,025 決算 25,843 29,668 事業名・事業概要・予算額	 ①県内外での各種メディアを活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタリングシステムの導入支援等 4,959 主 な 事 業 内 容 ①指導員の育成や検査環境の整備等による農場HACCP指 	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペリーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数 [累計:品 ベリーツのさがほのかに対する販売単価差額 [円/kg	達目実達目実達 国 国 東 東 東 東 東 東 東 東	平成30年度 66.7 73.8 110.6% 8 11 137.5% 140 209 149.3%	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5% 140 175 125.0%	ベリーツ作付面積 「果計: ha 事業の 生産者が技術面で不安レータスの表別果による高単価販会ののである。 令和2年度からは「ベた対策及びギーランド確立対リーツ」ブランド確立対 度成果指標	目標値値 実蔵成果 透成果を売、内内リ門店を売り、 サーツ専事業 成成度 で、成成度である。 は、一、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	20.0 7.0 35.0% 今 会者数や導入に量と果実品質でランド確立のでまざへの流通実施する。	45.0 12.7 28.2% 後 面積は目標(の高さから身 ため、高品針 ・販売対策を 令和元年度 9	の 方 こ達していない 期待は高まって 質・安定生産 を実施する『	か いが、ていに向け「ベ
No.	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 26,306 30,025 決算 25,843 29,668 事業名・事業概要・予算額 畜産農場HACCP等認証取得推進事業	①県内外での各種メディアを活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタリングシステムの導入支援等 4,959 主な事業内容 ①指導員の育成や検査環境の整備等による農場HACCP指導体制の強化	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペリーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数 [累計:品 ベリーツのさがほのかに対する販売単価差額 [円/kg 活 動 指 標 取組指導農家戸数	達目実達目実達	平成30年度 66.7 73.8 110.6% 8 11 137.5% 140 209 149.3% 平成30年度 6 6	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5% 140 175 125.0% 令和元年度 令和2年 9	ペリーツ作付面積 「果計: ha 事業の 生産者が技術面で不安 PR効果による高単価販 る。 令和2年度からは「ベン対策及びギフト・高級リーツ」ブランド確立対 リーツ」がランド確立対 度成果指標 農場HACCPおよびJGAP家 畜・畜産物の認証農場数	目実達成果を売り果策事業達目実績値値	20.0 7.0 35.0% ・ 今 産者数や導入で 量と果実品質で ランド確立のの などへの流通 実施する。 平成30年度 6 9	45.0 12.7 28.2% 後 額積は目標に の高さからす ため、高品な ・販売対策を 令和元年度 9	の 方 に達していない 朝待は高まっつ ・安定生産に を実施する『	かが、 いが、 に向け 「べ
No. No.	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 26,306 30,025 決算 25,843 29,668 事業名・事業概要・予算額 畜産農場HACCP等認証取得推進事業 (H29 ~ R1) 畜産振興課	① 県内外での各種メディアを 活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタリングシステムの導入支援等 4,959 主な事業内容 ①指導員の育成や検査環境の整備等による農場HACCP指導体制の強化 2,730	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペリーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数 [累計:品 ベリーツのさがほのかに対する販売単価差額 [円/kg 活 動 指 標 取組指導農家戸数	達目実達目実達 達目実達 度値値率値値率値値率 度値値率 度値値率	平成30年度 < 66.7	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5% 140 175 125.0% 令和元年度 令和2年 9 9	ベリーツ作付面積 「果計: ha 事業の 生産者が技術面で不安 PR効果による高単価で不安 令和2年度からは「必対策及びギフト・高級リーツ」ブランド確立対 リーツ」ズランド確立対 度成果指標 農場HACCPおよびJGAP家 畜・畜産物の認証農場数 [戸	目実達成果を売り果策 連転を売り果策 連転を売ります。 で売ります。 で売ります。 では、ファットでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	20.0 7.0 35.0% ・ 今 養者数や導入(ランド確立の) などへの流通 実施する。 平成30年度 6 9	45.0 12.7 28.2% 後 面積は目標に の高さからす ため、高品質・販売対策を 令和元年度 9 10	の 方 で達していない 期待は高まって 質・安定生産に を実施する『	か いが、に向け「ベ
No. No. 4	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「グリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 26,306 30,025 決算 25,843 29,668 事業名・事業概要・予算額 畜産農場HACCP等認証取得推進事業 (H29 ~ R1) 畜産振興課 畜産物の輸出・販路拡大を図るため、畜産農	①県内外での各種メディアを活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタリングシステムの導入支援等 4,959 主 な 事 業 内 容 ①指導員の育成や検査環境の整備等による農場HACCP指導体制の強化 2,730 ②研修会の開催や啓発資材作成による農場HACCP認証の	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペリーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数 [累計:品 ベリーツのさがほのかに対する販売単価差額 [円/kg 活 動 指 標 取組指導農家戸数	達目実達目実達目実達 達目実達目度値値率値値率値値率 度値値率 度値値率	平成30年度 < 66.7	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5% 140 175 125.0% 令和元年度 令和2年 9 9	ベリーツ作付面積 「果計: ha 事業 生産者が技術面で不安トアR効果による高単価 今和2年度かららは「高対 た対策及びデランド確立対 度成果指域 農場HACCPおよびJGAP家畜・畜産物の認証農場数 事業の育成を行い、 指導員の育成を行い、	目実達 成	20.0 7.0 35.0% ・ 今 音者数や導入で 量と果実品質で ランド確の流通 実施する。 平成30年度 6 9 150.0% ・ 今 算体制を強化	45.0 12.7 28.2% 後 (面積にからす ため、高品計 たり、高品計 を取売対策を 令和元年度 9 10	の 方 で達していない 関係は高まって 質・安定生産に を実施する『 令和2年度	か いが、に向け「ベ 評価 A 針
No. 3	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 26,306 30,025 決算 25,843 29,668 事業名・事業概要・予算額 畜産農場HACCP等認証取得推進事業 (H29 ~ R1) 畜産振興課	①県内外での各種メディアを活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタリングシステムの導入支援等 4,959 主 な 事 業 内 容 ①指導員の育成や検査環境の整備等による農場HACCP指導体制の強化 2,730 ②研修会の開催や啓発資材作成による農場HACCP認証の取得推進	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペリーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数 [累計:品でリーツのさがほのかに対する販売単価差額 [円/kg 活 動 指 標 取組指導農家戸数 [戸 研修会の開催回数 [戸	達目実達目実達目実達 達目実達目実達目実達目実達目実達 達目実達目実達目実	平成30年度 66.7 73.8 110.6% 8 11 137.5% 140 209 149.3% 平成30年度 6 6 6 100.0% 2	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5% 140 175 125.0% 令和元年度 令和2年 9 9 100.0% 2 1	ベリーツ作付面積 「果計: ha 事業の 上産者が技術面高単価販売 PR効果による高単価販売 令和2年度からは・高数 た対策及びブランド確立対リーツ」ブランド確立対 度 成果指標 農場HACCPおよびJGAP家畜・畜産物の認証農場数 事業の育成を行い、取得農場は目標を上回り 取得農場は目標を上回り	目実達 成	20.0 7.0 35.0% ・ 今 産者と果実品質 ランドの流通 シドへの流通 を施する。 平成30年度 6 9 150.0% ・ 令 に 単化に繋がっ 金化に繋がっ	45.0 12.7 28.2% 後 面積はから身 ため、高品で、 ・販売対策を 令和元年度 9 10 111.1%	の 方 こ達していない 期待は高まって 質・安定生産に を実施する『 令和2年度	かが、 いが、 に向け 「ベ 評価 A
No. 3	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 26,306 30,025 決算 25,843 29,668 事業名・事業概要・予算額 畜産農場HACCP等認証取得推進事業 (H29 ~ R1) 畜産振興課 畜産物の輸出・販路拡大を図るため、畜産農場における農場HACCPやJGAP家畜・畜産物認証取得を支援する。	①県内外での各種メディアを活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタリングシステムの導入支援等 4,959 主 な 事 業 内 容 ①指導員の育成や検査環境の整備等による農場HACCP指導体制の強化 2,730 ②研修会の開催や啓発資材作成による農場HACCP認証の	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペリーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数 [累計:品でリーツのさがほのかに対する販売単価差額 [円/kg 活 動 指 標 取組指導農家戸数 [戸 研修会の開催回数 [戸	達目実達目実達目実達 達目実達目実達成標績成標績成 成標績成標績成 成標績成標績成	平成30年度 < 66.7	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5% 140 175 125.0% 令和元年度 令和2年 9 9	でリーツ作付面積 「果計:ha 事業の 生産者が技術面高単価の と対策及のでリーツト・確立対策及びデフト・確立対 リーツ」ブランド確立対 リーツ」が基本を対域の認証農場数 に 原場HACCPおよびJGAP家畜・畜産物の認証農場数 [戸事真場は農場に関係を上門、別、別、別、の、別、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、	目実達	20.0 7.0 35.0% キャップス を を を を ランド確立の などへの流通 まをする。 で の で の の の の の の の の の の の の の の の の	45.0 12.7 28.2% 後 (後) 目標は 所高さい。高いでは ・販売対策を 令和元年度 9 10 111.1% 後果、』。	の 方 ご達していない。 ではは、一方では、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で	D 針 がい 向べ 評価 A 針 等 的を
No. 3	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 26,306 30,025 決算 25,843 29,668 事業 名・事業 概要・予算額 畜産機場HACCP等認証取得推進事業(H29~R1) 畜産物の輸出・販路拡大を図るため、畜産農場における農場HACCPやJGAP家畜・畜産物認証取得を支援する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和元年度	①県内外での各種メディアを活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタリングシステムの導入支援等 4,959 主 な 事 業 内 容 ①指導員の育成や検査環境の整備等による農場HACCP指導体制の強化 2,730 ②研修会の開催や啓発資材作成による農場HACCP認証の取得推進	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペリーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数 [累計:品でリーツのさがほのかに対する販売単価差額 [円/kg 活 動 指 標 取組指導農家戸数 [戸 研修会の開催回数 [戸	達目実達目実達 達目実達目実達目実達目実達目	平成30年度 66.7 73.8 110.6% 8 11 137.5% 140 209 149.3% 平成30年度 6 6 6 100.0% 2	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5% 140 175 125.0% 令和元年度 令和2年 9 9 100.0% 2 1	ベリーツ作付面積 「果計: ha 事業の 上産者が技術面高単価販売 PR効果による高単価販売 令和2年度からは・高数 た対策及びブランド確立対リーツ」ブランド確立対 度 成果指標 農場HACCPおよびJGAP家畜・畜産物の認証農場数 事業の育成を行い、取得農場は目標を上回り 取得農場は目標を上回り	目実達	20.0 7.0 35.0% 35.0% 今 養者数や導品の ランド確立の 家とをする。 平成30年度 6 9 150.0% 今 年後化に進の取競争 等単度なる	45.0 12.7 28.2% 後 (後) 目標は 所高さい。高いでは ・販売対策を 令和元年度 9 10 111.1% 後果、』。	の 方 ご達していない。 ではは、一方では、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で	D 針 がい 向べ 評価 A 針 等 的を
No. No. 4	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 26,306 30,025 決算 25,843 29,668 事業名・事業概要・予算額 畜産農場HACCP等認証取得推進事業 (H29 ~ R1) 畜産振興課 畜産物の輸出・販路拡大を図るため、畜産農場における農場HACCPやJGAP家畜・畜産物認証取得を支援する。	①県内外での各種メディアを活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタリングシステムの導入支援等 4,959 主 な 事 業 内 容 ①指導員の育成や検査環境の整備等による農場HACCP指導体制の強化 2,730 ②研修会の開催や啓発資材作成による農場HACCP認証の取得推進	活 動 指 標 県内いちご農家に占めるペリーツ生産者数 [% ベリーツ加工品の新商品数 [累計:品でリーツのさがほのかに対する販売単価差額 [円/kg 活 動 指 標 取組指導農家戸数 [戸 研修会の開催回数 [戸	達目実達目実達 達目実達目実達 度値値率値値率値値率 度値値率値値率	平成30年度 66.7 73.8 110.6% 8 11 137.5% 140 209 149.3% 平成30年度 6 6 6 100.0% 2	令和元年度 令和2年 100.0 65.7 65.7% 16 18 112.5% 140 175 125.0% 令和元年度 令和2年 9 9 100.0% 2 1	ズリーツ作付面積 「果計: ha 事業 生産者が技術面で一の不安販 生産者が技術面高 らい・高の大きなが、中では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	目実達	20.0 7.0 35.0% 35.0% 今 養者数や導品の ランド確立の 家とをする。 平成30年度 6 9 150.0% 今 年後化に進の取競争 等単度なる	45.0 12.7 28.2% 後 (後) 目標は 所高さい。高いでは ・販売対策を 令和元年度 9 10 111.1% 後果、』。	の 方 ご達していない。 ではは、一方では、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で	D 針 がい 向べ 評価 A 針 等 的を

	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	江 卦 比 捶	本土由	亚中00左车 各和一	一左座 人和0左座		本土店	マル00ケヰ	人 和二左束	△ 4±0 左 左	: €0:/m:
NO.	おまいた材プロモーション活動支援事業	主 な 事 業 内 容 ①販売拠点の設置や大規模イ	活 動 指 標 拠点でのイベント回数	,,,,,,,	平成30年度 令和元		成果指標 国内拠点への販売量		平成30年度		令和2年度	計画
		ベントの出展に対する助成	拠点でのイベント回数	目標値		0 0	国内观点"700规范量	目標値		3, 250	7, 500	_
	(R1 ~ R3) 林産振興室	3, 328	[実績値	10	6 –	F 37	実績値		3, 197	_	В
	県産材の需要拡大を図るため、市町村と共同で「おおいた材利用促進協議会」を立ち上げる	②販売拠点の営業員等に対す	[甲]	達成率	12	20.0% —		達成率	^	98. 4%	-	AI.
l _	とともに、県内生産者団体が県外プレカット事	る県内での研修会の開催支援		目標値			事 業 の 販売拠点を埼玉、愛知、	成果	· 今	後の		針(かいし
5	業者等と連携して行う大消費地での販路拡大の	886		実績値			販売拠点を埼玉、愛和、 の出展にかかる経費を支持					
	取組を支援する。			達成率			県産材の県外への販路拡大 引き続き拠点の設置及び				\$ ## → .	7
	区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度			目標値			別さ続さ拠点の設直及(ハイヘントに	□展を文仮し、	, 県座材の常	計 要 払 入 を 凶 々	ు
	予算 5,930 6,954			実績値								
L	決算 5,370 -			達成率								
No	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	活動指標	法出由	平成30年度 令和元	二年度 今和9年度	よ 田 作 挿	法出由	亚出90年度	令和元年度	令和2年度	評価
NO.	対象なり対象は大性進事業	①乾しいたけの新ブランド	活 動 指 標	達成及 目標値	平成30年度 节和开		成果 指標 生しいたけ京都出荷	達成及 目標値				計画
		「うまみだけ」による消費	施回数				王しいたけ 永郁山何 量	D41	8. 9	10.0	11.0	[
	(H29 ~ R4) 林産振興室	拡大対策		実績値		5 –	_ 	実績値	9. 2	7.7	_	D
	しいたけの消費拡大を図るため、生産者と流 通事業者等が一体となって行う、ブランド力向	19,977		達成率		36. 7% —		達成率	103. 4%	77. 0%	-	AI.
	上や新たな消費者層の獲得に向けた取組を支援	②京都市場に対する生しいた けの出荷・流通経費への支	京都市場向けの原木生しいたけに関する活動回数	目標値	10	10 10		成 果	· 수	-		針
6	する。	接		実績値	10	10 —	乾しいたけは、粉末やス た。今後は新ブランド「!	ヘフィ へ等り うまみだけ」	ク新しい良へ。 を中心に、i	カをPRし、 訴求力の強化	相質払入でX ごを図る。	進め
		6, 629		達成率		00.0% —	生しいたけは、天候不順					、集出
	区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度	③乾しいたけの販売強化・普	乾しいたけPR活動回数	目標値	12	12 12	荷施設の整備を進め、品質 今後は集出荷体制の改良					の増加
	予算 9,756 30,878 31,506	及PR活動 4,272		実績値	16	16 —	を図る。					
Ш	決算 8,760 27,208 -	4, 212	[田]	達成率	133.3% 13	33.3% —						
N	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	活動指標	本土由	亚라00左座 入和二	一左座 人和0左座	成果指標	本土由	₩ # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	人 和二左击	令和2年度	= T
No.												
						元年度 令和2年度	771 111 111 111		平成30年度	令和元年度		. В ПЩ
	県産水産物流通拡大推進事業	①都市圏市場等への販路開 拓、量販店・飲食店での	量販店等でのフェア開催回数	目標値	18	18 19	「おおいたの魚パート ナーシップ量販店」数	目標値	平成30年度	10	20	
	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課	①都市圏市場等への販路開 拓、量販店・飲食店での フェア開催	量販店等でのフェア開催回 数	目標値 実績値	18 18	18 19 25 —	「おおいたの魚パート ナーシップ量販店」数	目標値 実績値	平成30年度	10 10	20 —	A
	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が	①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催8,802	量販店等でのフェア開催回 数 [回]	目標値 実績値 達成率	18 18 100.0% 13	18 19 25 — 38. 9% —	「おおいたの魚パート ナーシップ量販店」数 [店]	目標値 実績値 達成率		10 10 100. 0%	20 — —	
	県産水産物流通拡大推進事業 (H28~R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと	①都市圏市場等への販路開 拓、量販店・飲食店での フェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とし	量販店等でのフェア開催回 数	目標値 実績値 達成率 目標値	18 18 100.0% 13 28	18 19 25 — 38.9% — 17 18	「おおいたの魚パート ナーシップ量販店」数 [店] 事業の	目標値 実績値 達成率 成 果	· 今	10 10 100.0% 後	20 - - つ 方	A 針
7	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと もに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活	①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催8,802	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数	目標値 実績値 声標値 実績値	18 18 100.0% 13 28 30	18 19 25 — 38. 9% — 17 18 27 —	「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数 「店」 事業の 大消費地において、からとにより、通年販売が見え	目標値 実績値 達成率 成果 ず養殖販売	・ 今 を核として量! 店とパートナー	10 10 100.0% 後 仮店等でのフ ーシップを編	20 - - フ 方 フェアを開催し きぶことができ	A 針 したこ きた。
7	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと もに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活動により、県内消費の拡大を図る。	①都市圏市場等への販路開 拓、量販店・飲食店での フェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とし た魚食普及活動	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数	目標値 実績値 達成率 目標値 実績値 達成率	18 18 100.0% 13 28 30	18 19 25 — 38. 9% — 17 18 27 — 58. 8% —	「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数 「店」 事業の 大消費地において、かはとにより、通年販売が見込ま引き続き商社と連携し	目標値 実績 座 成果 で で を を を を を を を を を を を を を を を を を	・ 今 を核として量! おとパートナー 図るとともに、	10 10 100.0% 後 仮店等でのフ ーシップを編 県内では魚	20 - フ 方 フェアを開催し まぶことができ 会介類消費の2	A 針 したた。い
7	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと もに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活 動により、県内消費の拡大を図る。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度	①都市圏市場等への販路開 拓、量販店・飲食店での フェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とし た魚食普及活動	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数	目標値値 実達成標値 実達成標値 率値	18 18 100.0% 13 28 30	18 19 25 — 38. 9% — 17 18 27 — 58. 8% —	「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数 「店」 事業の 大消費地において、からとにより、通年販売が見え	目標値値率 展集点 成業を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	・ 今 を核として量け おろととしてより 図るとそい、 活動を行い、	10 10.0% 後 仮店等でのを ーシッ内では魚 「おおいた男	20 - フ 方 フェアを開催し まぶことができ 会介類消費の2	A 針 したた。い
7	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと もに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活 動により、県内消費の拡大を図る。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 14,399 12,157 12,097	①都市圏市場等への販路開 拓、量販店・飲食店での フェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とし た魚食普及活動	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数	目実達目実達日実達日実績成標績成標績成標績 早績値	18 18 100.0% 13 28 30	18 19 25 — 38. 9% — 17 18 27 — 58. 8% —	「おおいたの鬼パートナーシップ量販店」数 「店」事業の大消費地において、からとにより、通年販売携し」引き続き商社と連携し具子育て世代をターゲットに	目標値値率 展集点 成業を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	・ 今 を核として量け おろととしてより 図るとそい、 活動を行い、	10 10.0% 後 仮店等でのを ーシッ内では魚 「おおいた男	20 - フ 方 フェアを開催し まぶことができ 会介類消費の2	A 針 したた。い
7	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと もに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活 動により、県内消費の拡大を図る。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度	①都市圏市場等への販路開 拓、量販店・飲食店での フェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とし た魚食普及活動	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数	目標値値 実達成標値 実達成標値 率値	18 18 100.0% 13 28 30	18 19 25 — 38. 9% — 17 18 27 — 58. 8% —	「おおいたの鬼パートナーシップ量販店」数 「店」事業の大消費地において、からとにより、通年販売携し」引き続き商社と連携し具子育て世代をターゲットに	目標値値率 展集点 成業を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	・ 今 を核として量け おろととしてより 図るとそい、 活動を行い、	10 10.0% 後 仮店等でのラーシッ内では魚 「おおいた男	20 - フ 方 フェアを開催し まぶことができ 会介類消費の2	A 針 したた。い
7	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾ちりめん等を核とした販促活動を支援するとともに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活動により、県内消費の拡大を図る。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度予算 14,399 12,157 12,097 決算 13,714 11,978 -	①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とした魚食普及活動 3,355	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数 [回]	目標績成標績成標績成標績成標績成標績 目実績成標績 直標績成率 値値率 値値率 を重要を表する。	18 18 100.0% 13 28 30 107.1% 15	18 19 25 — 38.9% — 17 18 27 — 58.8% —	「おおいたの鬼パートナーシップ量販店」数 「店」事業の 大消費地において、からとによら続き続き続き続きします。サイン・メール・アットと消費拡大を図り、県水産	目標値 実績値 達成率 成果 まず養量販売 の数数食量大き で の数数食者の を 関係者の を を 関係者の を を の の の の の の の の の の の の の の の の の	・	10 10 100.0% 後 で 板店等でのフ ーシップを 県内では 県内 いた 見 打す。	20 - - - - - - - - - - - - -	か したこ。 かなな大
7 No.	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾ちりめん等を核とした販促活動を支援するとともに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活動により、県内消費の拡大を図る。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度予算 14,399 12,157 12,097決算 13,714 11,978 - 事業名・事業概要・予算額	①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とした魚食普及活動 3,355	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数 [回]	目実達日実達日実達成標績成標績成標績成標績成標績成成成成成成 成	18 18 100.0% 13 28 30 107.1% 15	18 19 25 — 38.9% — 17 18 27 — 58.8% —	「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数 「店」 事業の大消費地において、かいとにより、通年収売が見られる。では、一部では、またのでは、またのでは、果水産のでは、またの	目標値 実施成果 成果 成果 近 及路食量大きる 近 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	・ 今 を核として量 話といっトナー るとともい、 舌動を行いを 経営安定化を 平成30年度	10 10 100.0% 後 の 販店等でプでをは 県内でを 県内が に 計 指す。	20 	か したこ。 かなな大
7 No.	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと もに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活動により、県内消費の拡大を図る。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 14,399 12,157 12,097 決算 13,714 11,978 − 事業名・事業概要・予算額 6次産業化サポート体制整備事業	①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とした魚食普及活動 3,355	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数 [回]	目実達目実達目実達成標績成標績成標績成標績成標績成標績成成標績成成標績成成標值	18 18 100.0% 13 28 30 107.1% 15 平成30年度 令和元	18 19 25 — 38.9% — 17 18 27 — 58.8% — 元年度 令和2年度 20 20	「おおいたの鬼パートナーシップ量販店」数 「店」事業の 大消費地において、からとによら続き続き続き続きします。サイン・メール・アットと消費拡大を図り、県水産	日標値 実績成果 成果 発殖量を 及る路拡食者の 経 度に 度 に 度 に 度 に 度 に 度 に 度 に 度 に 度 に 度	・ 今 を核として子 対 図るとともに、 活動を行いを 経営安定化を 平成30年度	10 10 100.0% 後 の 版店等での ラーシップでは魚 「親おいた男 目指す。	20 - 一 方 フェアを開催 きぶことができ 急介類消費のの 身産魚」の販買 令和2年度	A 針 しきた。いきかな拡大 評価
7 No.	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと もに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活動により、県内消費の拡大を図る。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 14,399 12,157 12,097 決算 13,714 11,978 − 事業名・事業概要・予算額 6次産業化サポート体制整備事業 (H29 ~ R4) おおいたブランド推進課	 ①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とした魚食普及活動 3,355 主 な 事 業 内 容 ①6次産業化サポートセンターの運営委託 17,458 	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数 [回] (回] (回] (回] (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日)	目実達目実達目実達 達目実達 上票達 上票 達日 東 達日 東 達日 東 達日 東 達日 東 後 値 値 率 度 値 値	18 18 100.0% 13 28 30 107.1% 15 平成30年度 令和元 20 23	18 19 25 — 38.9% — 17 18 27 — 58.8% — 元年度 令和2年度 20 20 30 —	「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数 「店」事業の大消費地に近れて、からいまでは、のの表別では、ののでは、のでは、ののでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	目実達成果 無無な 果 無 服 を と な ま な と な ま な ま な ま な ま な ま な ま な ま な	・ 今 を核として量子 店とパートン 図るとともに、 活動を行い、 経営安定化を 平成30年度 2 4	10 10.0% 後 6 仮店等プではたり 「おおいたり目指す。	20 - 一 方 フェアを開催 きぶことができ 気介類消費の少 最産魚」の販置 令和2年度 2	か したこ。 かなな大
7 No.	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府済 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと もに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活動により、県内消費の拡大を図る。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 14,399 12,157 12,097 決算 13,714 11,978 − 事業名・事業概要・予算額 6次産業化サポート体制整備事業 (H29 ~ R4) おおいたブランド推進課 6次産業化の推進による農林水産業者の所得	 ①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とした魚食普及活動 3,355 主 な 事 業 内 容 ①6次産業化サポートセンターの運営委託 17,458 ②商品改良、販売促進活動へ 	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数 [回] たき 動 指 標 6 次産業化チャレンジス クールの受講者数 [人]	目実達目実達 実達 実達 実達 実達 実達 実達 実	18 18 100.0% 13 28 30 107.1% 15 平成30年度 令和元 20 23 115.0% 15	18 19 25 - 38.9% - 17 18 27 - 58.8% - 元年度 令和2年度 20 20 30 - 50.0% -	「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数 「店」 事業の 大消費地におい販売が見込まが、まる。 おきがい 通年販売が見込まが、ままがである。 大消費拡大を図り、県水産が、サインを図り、県水産が、東土指標のでは、単位に係る総合のでは、単位に係る総合のでは、単位に係る総合のでは、単位に係る総合のでは、単位に係る総合のでは、単位に係る総合のでは、単位に係る総合のでは、単位に係る総合のでは、単位に係る総合のでは、単位に係る総合のでは、単位に係る総合のでは、単位に係る総合のでは、単位に係る総合のでは、単位により、単位には、単位には、単位には、単位には、単位には、単位には、単位には、単位には	目実 連 標値 座 展 版 東 2 を 2 を 3 を 3 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 5 を 5 を 6 を 6 を 6 を 6 を 6 を 6 を 6 を 6	・ 今 を核として量 店とパートン 図るとともい、 経営安定化を 平成30年度 2 4 200.0%	10 10.0% 後 6 板店等ででを リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リ	20 方 フェアを開催 きぶことができ 急介類消費の少 最産魚」の販置 令和2年度 2	A 針 したたこのいた から
7 No.	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと もに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活動により、県内消費の拡大を図る。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 14,399 12,157 12,097 決算 13,714 11,978 − 事業名・事業概要・予算額 6次産業化サポート体制整備事業 (H29 ~ R4) おおいたブランド推進課 6次産業化の推進による農林水産業者の所得向上や雇用の増大を図るため、新商品開発・販路開拓への支援、人材育成のための研修会を実	 ①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とした魚食普及活動 3,355 主 な 事 業 内 容 ①6次産業化サポートセンターの運営委託 17,458 ②商品改良、販売促進活動への支援 	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数 [回] 活 動 指 標 6次産業化チャレンジス クールの受講者数 [人] 6次産業化サポートセン	目実達目実達 実達 実達 実達 実達 実達 実達 実	18 18 100.0% 13 28 30 107.1% 15 平成30年度 令和元 20 23 115.0% 15	18 19 25 - 38.9% - 17 18 27 - 58.8% - 二年度 令和2年度 20 20 30 - 50.0% - 20	「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数 「店」 事業の 大消費、通年と連携し見子育で世代をターゲリトと消費拡大を図り、県水産と消費拡大を図り、県水産の、東水産の、東水産の、東水産の、大変産業化に係る総合の、大道・大きの、東水産の、大道・大きの、東水産の、大道・大きの、東水産の、大道・大きの、東水産の、大道・大きの、東土指標・「大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、	目実達成果無販を及び 機構を 成すめる拡食係 成すめる拡食係 成標績成果 度値値率 度値値率 度値値率 展版を 及び 度値値率 度値値率 度値を 度が 度が 度が 度が 度が 度が 度が 度が 度が 度が 度が 度が 度が	・ 今 を核として 計 き さとともい、 経営安定化を 平成30年度 2 4 200.0% ・ 今	10 10.0% 後ででを終れたり においいにはいいにはいいます。 令和元年度 2 5 250.0%	20 - カ フェアを開催きることである。 フェアを開催さることである。 フェアを開催される。 フェアを開催される。 ク類消費の少 最介類消費の少 最介類消費の少 最介類消費の少 の販置 ・ ロー カ カフェアを開催される。 ・ ロー カ カフェアを開催される。 カロー カロー カロー カロー カロー カロー カロー カロー カロー カロー	A 針 立たたなな大 評価 A 針
7 No.	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと もに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活動により、県内消費の拡大を図る。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 14,399 12,157 12,097 決算 13,714 11,978 − 事業名・事業概要・予算額 6次産業化サポート体制整備事業 (H29 ~ R4) おおいたブランド推進課 6次産業化の推進による農林水産業者の所得向上や雇用の増大を図るため、新商品開発・販	 ①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とした魚食普及活動 3,355 主 な 事 業 内 容 ①6次産業化サポートセンターの運営委託 17,458 ②商品改良、販売促進活動へ 	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数 [回] 魚食普及活動回数 [回] 活動指標 6次産業化チャレンジス クールの受講者数 [人] 6次産業化サポートセン ターの新規支援対象件数	目実達目実達 実達 実達 実達 実達 実達 実達 実	18 18 100.0% 13 28 30 107.1% 15 平成30年度 令和元 20 23 115.0% 15 20 20	18 19 25 38.9% 17 18 27 58.8% 元年度 令和2年度 20 20 30 50.0% 20 24	「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数 「店」 事業の大消費地に治い販売が見られる。 はいまれている とにより、き商社とと連携し見子育者拡大を図り、県水産業化に係る総合化事業計画の認定件数 「体」では、農林水産業者の6次度、サポートでとし、農林水産業者の6次度、サポートで、	目実達成 果無販を入る 「大きないない。」である 「大きないない。」である 「大きないない。」である 「大きないない。」である 「大きない。」である。 「大きない。 「たっない。 「大きない。 「大きない。 「たっない。		10 10.0% 後 で でを は で で を は た が と が と が と が と が と が と が と が と が と が	20 	A 針 しき少路 評価 A 排機数
7 No.	 県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと もに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活動により、県内消費の拡大を図る。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 14,399 12,157 12,097 決算 13,714 11,978 - 事業名・事業概要・予算額 6次産業化サポート体制整備事業 (H29 ~ R4) おおいたブランド推進課 6次産業化の推進による農林水産業者の所得向上や雇用の増大を図るため、新商品開発・販路開拓への支援、人材育成のための研修会を実施する。 	①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とした魚食普及活動 3,355 主 な 事 業 内 容 ①6次産業化サポートセンターの運営委託 17,458 ②商品改良、販売促進活動への支援 1,980 ③九州・山口9県の共同実施による商談会の開催等	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数 [回] 魚食普及活動回数 [回] (回] (回] (回] (回] (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日)	目実達目実達目実達 達目実達日実達日実達	18 18 100.0% 13 28 30 107.1% 15 平成30年度 令和元 20 23 115.0% 15 20 20 20 20 100.0% 12	18 19 25 38.9% 17 18 27 58.8% 元年度 令和2年度 20 20 30 50.0% 20 24 20.0%	「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数 「店」 事業の大消費地におい販売が見込まが、またにより、通格社と連携し見子育では大を図り、県水産業計画の認定件数 「佐事業計画の認定件数 「件」 事業と出ている。 「作品を含める。」 「作品を含める。「作品を含める。」 「作品を含める。「作品を含める。」 「作品を含める。「作品を含める。」 「作品を含める。「作品を含める。」 「作品を含める。」 「は、たいまする。」 「作品を含める。」 「は、たいまする。」 「は、たいまする。。」 「は、たいまする。。」 「は、たいまする。。」 「は、たいまする。」 「は、たいまする。」 「は、たいま	目実達成果無販を受える 「健値値率」というでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・ 今量かに、を を核といとといった とおいった を方図る動を存化を 平成30年度 型の0.0% 日本の ・ 農場する場合 ・ 機力を ・ ・	10 10.0% 後 で でを は で で を は た が と が と が と が と が と が と が と が と が と が	20 	A 針 しき少路 評価 A 排機数
7 No.	 県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと もに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活動により、県内消費の拡大を図る。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 14,399 12,157 12,097 決算 13,714 11,978 - 事業名・事業概要・予算額 6次産業化サポート体制整備事業 (H29 ~ R4) おおいたブランド推進課 6次産業化の推進による農林水産業者の所得向上や雇用の増大を図るため、新商品開発・販路開拓への支援、人材育成のための研修会を実施する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度	①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とした魚食普及活動 3,355 3,355 3,355 17,458 ②商品改良、販売促進活動への支援 1,980 ③九州・山口9県の共同実施	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数 [回] 魚食普及活動回数 [回] 活動指標 6次産業化チャレンジスクールの受講者数 [人] 6次産業化サポートセンターの新規支援対象件数 [件] 各県が連携して出展する商	目実達目実達目実達 達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目	18 18 100.0% 13 28 30 107.1% 15 平成30年度 令和元 20 23 115.0% 15 20 20 20 20 60	18 19 25 38.9% 17 18 27 58.8% 元年度 令和2年度 20 20 30 50.0% 20 24 20.0% 60	「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数 「店」 事 業 の て、から、	目実達成するな食の質点を含めて、 関係を表して、 関係を表して、 関係を表して、 関係を表して、	・ 今量ナルに、をを核といったをできた。 を核といった。 を対った。 を対った。 を対った。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	10 10.0% 後 の 板店等のをはたり 日指す。 令和元年度 2 5 250.0% 後 点化会の のをはたり はなりでする。	20 一 方 方 方 下 で 関係 で で の 別 係機 認 定 に よ の 別 係 機 認 定 に よ の 別 係 の に よ の り 関係 の よ り そ で の と で は の よ り そ で か と で か と で の と で の と で で か と で	会計 しき少路 評価 A 金井 携数凍
7 No.	 県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が 都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾 ちりめん等を核とした販促活動を支援するとと もに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活動により、県内消費の拡大を図る。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年度 予算 14,399 12,157 12,097 決算 13,714 11,978 - 事業名・事業概要・予算額 6次産業化サポート体制整備事業 (H29 ~ R4) おおいたブランド推進課 6次産業化の推進による農林水産業者の所得向上や雇用の増大を図るため、新商品開発・販路開拓への支援、人材育成のための研修会を実施する。 	①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とした魚食普及活動 3,355 主 な 事 業 内 容 ①6次産業化サポートセンターの運営委託 17,458 ②商品改良、販売促進活動への支援 1,980 ③九州・山口9県の共同実施による商談会の開催等	量販店等でのフェア開催回数 [回] 魚食普及活動回数 [回] 魚食普及活動回数 [回] (回] (回] (回] (回] (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日)	目実達目実達目実達 達目実達日実達日実達	18 18 100.0% 13 28 30 107.1% 15 平成30年度 令和元 20 23 115.0% 15 20 20 20 20 60	18 19 25 38.9% 17 18 27 58.8% 元年度 令和2年度 20 20 30 50.0% 20 24 20.0%	「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数 「店」事業の大きでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	目実達成するな食の質点を含めて、 関係を表して、 関係を表して、 関係を表して、 関係を表して、	・ 今量ナルに、をを核といったをできた。 を核といった。 を対った。 を対った。 を対った。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	10 10.0% 後 の 板店等のをはたり 日指す。 令和元年度 2 5 250.0% 後 点化会の のをはたり はなりでする。	20 一 方 方 方 下 で 関係 で で の 別 係機 認 定 に よ の 別 係 機 認 定 に よ の 別 係 の に よ の り 関係 の よ り そ で の と で は の よ り そ で か と で か と で の と で の と で で か と で	会計 しき少路 評価 A 金井 携数凍

Νī	事業名・	f 光 抓 声 .	玄 皙 姫	子 42 車 米 b 宏	江. 私	₩ ₩	本十古	77.4200左阵	△和一左曲 /	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4-	H +F7	1 	本土由	マナックケウ	A-50 = 5 = 5	人和人生	ric = 50 /cc
No.	木造建築物等建			主 な 事 業 内 容 ①木塀の「おおいたモデル」	活 動 研修会開催数	指標			令和元年度 令		成 木造マ ・	果 指	標 クロス		平成30年度			_11
				の開発 2,876	切形云州惟奴		目標値	6	7	•	不坦 \	1 ^ > -	I ÆFI	目標値	29	15	15	_
	(H23 ~ R3	,	林産振興室	②中大規模木造建築物の設計		53	実績値	6	7		-~			実績値	29	18	. –	_ A
	県産材の需要拡入 たな商品を開発する	を図るため、地域 ほか 中大規模木		を行おうとする建築士に対		[坦]	達成率	100.0%	100.0%					達成率	100.0%		*	
	宅)の設計を担う建	築士の養成を行う	とともに、木材	する講習会の実施 1,810 ③九州各県の木材を使用した			目標値				事	214		成果	· 4	D.	の方	針
9	調達方法などの相談の大法はお客口の			本造ビルの標準モデルの製			実績値				建築士	に対し講· また 仝	習会への ての科目)参加を積札 3を履修し力	極的に促した た木造マイス	活果、目標 ター研修の	を上回る参加 修了者も日標	加者と 煙を上回
	の木造化相談窓口の	開設寺を又抜りる	0	作 1,000			達成率				る18人	となり、	今後のオ	卡造建築物 技	推進に向けた	体制の強化	が図られた。)
	区分 平成30年	度令和元年度	令和2年度	④建築士に対する木材利用ア			目標値							と図るため、 トる助成を彳	令和2年度 テう	は県産木材	を利用した「	中低層木
	予算 5,56	8 7, 340	119, 886	ドバイザーの設置 600			実績値				JE C / /*	C/1 1/2E	X(-/1)	09379261	1 7 0			
	決算 5,33	1 7, 339	_				達成率											
	T - W -	to the law one	- lele store				Table Balls							Tele bolo		1	T	
No.	事業名・		予算額	主な事業内容	活動	指標				予和2年度		果 指	標			令和元年度		
	間伐材等安定供	給推進事業		①木材加工施設等と連携した 安定供給に資する搬出間伐	実施事業体数		目標値	13	13	13	搬出間	戊 面積		目標値	950	950	1, 050	
	(H18 ~)	森林整備室	安定協和に負する撤山間以 に対する助成			実績値	14	11					実績値	571	593	_	_ D
		営体制を確立する		129, 958		[者]	達成率	107.7%	84.6%				[ha]	達成率	60.1%	62. 49	6 –	
	林業事業体に管理 伐の推進を図る。	怪呂を集積・集剤	りし、搬出间				目標値				事	業	の	成果	· 4	後	の方	針
10	人の世紀を囚る。						実績値								面積は目標を 進を図った。	下回ったも	のの、森林作	作業道を
							達成率								Eを囚つた。 て搬出間伐を	推進するこ	とにより、衤	森林施業
	区分 平成30年	度令和元年度	令和2年度	1			目標値				の推進と	持続的な		は体制の確立		D1 DOM	ba 100 0	Σ.Ε.Ο.Τ.ΠΙ.\
	予算 248,44	7 129, 958	444, 675				実績値						(H30→	K1裸赵領	248,447千円	、KI→KZ樑i	赵 領 129,9	958十円)
	決算	0 0					達成率											
				_												_		
No.	事業名・			主 な 事 業 内 容	活動	指 標		平成30年度	令和元年度	う和2年度		果指	標		平成30年度	令和元年度	令和2年	度評価
No.	事業名 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			①消費者に対するPRイベン	活 動 消費者へのPR		達成度目標値	平成30年度	令和元年度 今 36	予和2年度	有機J	果 指 A S 認定		達成度目標値	平成30年度 340	360	令和2年	
No.		流通拡大推進		①消費者に対するPRイベン トの開催支援		R回数	目標値 実績値			予和2年度				目標値 実績値			令和2年	度 評価 C
No.	有機農産物生産 (H29 ~ R1 拡大する有機農	流通拡大推進) 地 産物のマーケッ]	事業 地域農業振興課 ・に対応する	①消費者に対するPRイベン			目標値 実績値	24	36	今和2年度	有機J			目標値 実績値	340	360		
No.	有機農産物生産 (H29 ~ R1 拡大する有機農 ため、共同出荷体	流通拡大推進) 地 産物のマーケット 制の構築や新たな	事業 地域農業振興課 トに対応する は担い手の育	①消費者に対するPRイベントの開催支援 1,925 ②県内量販店での流通体制の整備対策	消費者へのPR 県内量販店での	R回数 [累計:回]	目標値 実績値	24 27	36 39	分和2年度	有機J	AS認定	は場 [ha]	目標値 実績値	340 296	360 306 85. 09		
No.	有機農産物生産 (H29 ~ R1 拡大する有機農 ため、共同出荷体 成により、中山間	流通拡大推進) 地 産物のマーケッ 制の構築や新たた 地域の特性を活か	事業 地域農業振興課 トに対応する は担い手の育	①消費者に対するPRイベントの開催支援 1,925 ②県内量販店での流通体制の整備対策 1,793	消費者へのPR	R回数 [累計:回]	目標値 実績値 達成率	24 27 112. 5%	36 39 108. 3%	予和2年度	有機 J / 面積 事	A S 認定 業 プ化によ	【 ほ場 【 ha 】 の 人 る共同出	目標値 実績値 達成率 成 果	340 296 87.1% ・ 今 番篓や、オー	360 306 85.09 後 ガニックフ	の 方エスタ等の	C 針 PRイベ
	有機農産物生産 (H29 ~ R1 拡大する有機農 ため、共同出荷体	流通拡大推進) 地 産物のマーケッ 制の構築や新たた 地域の特性を活か	事業 地域農業振興課 トに対応する は担い手の育	①消費者に対するPRイベントの開催支援 1,925 ②県内量販店での流通体制の整備対策 1,793 ③グループでの生産販売への	消費者へのPR 県内量販店での	R回数 [累計:回] D有機農産物	目標値 実績値 達成率 目標値	24 27 112. 5% 16	36 39 108. 3% 24	今和2年度	有機 J が 事 グルーントを支	A S 認定 業 プ化によ 援した結:	[ha] の る共同出 果、野菜	目標値 実績値 達成率 成果 出荷体制の根 をや茶での記	340 296 87.1% ・ <i>今</i> 事築や、オー 認定ほ場面積	360 306 85.09 後 ガニックフ の増加や県	6 の 方 エスタ等のI 内量販店への	C 針 PRイベ の販路構
	有機農産物生産 (H29 ~ R1 拡大する有機農 ため、共同出荷体 成により、中山間 産物の生産拡大と	流通拡大推進) 地 産物のマーケッ 制の構築や新たた 地域の特性を活か	事業 地域農業振興課 トに対応する ☆担い手の育 いした有機農	①消費者に対するPRイベントの開催支援 1,925 ②県内量販店での流通体制の整備対策 1,793	消費者へのPR 県内量販店での	R回数 [累計:回] O有機農産物 [店]	目標値 実績値 実績値 実績値	24 27 112.5% 16 16	36 39 108. 3% 24 16	介和2年度	有機 J が 事 が かん で が 実 若 楽 若 等 が を つ 葉 若 等 ま こ ま な 等 ま た ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	A S 認定 業 プ化にた結 がったが の生産者	[ha] の 共野機 (目標値 実 成 帯 で 素 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で ま に 伴 い が ま に 伴 い が ま に 伴 い が ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま	340 296 87.1% ・ 今 講築や、オー 認定ほ場積にな 域少したため	360 306 85.09 後 ガニックフラ の増加や県いては、食いては、、目標達成	の 方 エスタ等のI 内量販店への 品企業が取り には至らなが	C 針 ア ス 路 う た が けいっこう
	有機農産物生産 (H29 ~ R1 拡大する有機農 ため、共同出荷体 成により、中山間 産物の生産拡大と	流通拡大推進) 地 室物のマーケット 制の構築や新たな 地域の特性を活か 産地化を図る。 度 令和元年度	事業 地域農業振興課 トに対応する ☆担い手の育 いした有機農	①消費者に対するPRイベントの開催支援 1,925 ②県内量販店での流通体制の整備対策 1,793 ③グループでの生産販売への取組支援	消費者へのPR 県内量販店での 取扱い店舗数	R回数 [累計:回] (京都) (京都) (京都) (京都) (京都) (京都) (京都) (京都) (京都)	目標値値率 目標値率 目標値率	24 27 112. 5% 16 16 100. 0%	36 39 108. 3% 24 16 66. 7%	介和2年度	有機 J が ドルマン 築 表 生 生 生 生 生 で と い 美 生 生 生 ま と ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	A S 認定 業 化しった産連 がの間の	[ha] の	目標値値 実達成果のは 荷体で認いる とやASに開始でいる。 という いるに関いる。 という いるに関いる。 という いるに関いる。 という に対している。 という にがしている。 という という という という という という という という という という	340 296 87.1% ・ 今 構築や、オー 認定ほ場面積 ま場面積につ	360 306 85.09 後 ガニックフ の増ては標金の いい日標は 東業は今年	の 方 エスタ等の1 内全 最悪が取れ にはなるがで終了し、	# C
	有機農産物生産 (H29 ~ R1 拡大する有機農 ため、共同出荷体 成により、中山間 産物の生産拡大と 区分 平成30年	流通拡大推進) 単 室物のマーケット 制の構築や新たた 地域の特性を活か 産地化を図る。 度 令和元年度 9 5,152	事業 地域農業振興課 トに対応する ☆担い手の育 いした有機農	①消費者に対するPRイベントの開催支援 1,925 ②県内量販店での流通体制の整備対策 1,793 ③グループでの生産販売への取組支援	消費者へのPR 県内量販店での 取扱い店舗数 有機農産物の生 り組んだグルー	R回数 [累計:回] (京都) (京都) (京都) (京都) (京都) (京都) (京都) (京都) (京都)	目実達目実達日実達日実績成標績成標績 工標値	24 27 112. 5% 16 16 100. 0%	36 39 108. 3% 24 16 66. 7%	→和2年度	有権 有権 が が が が が が が が が が	A S 認	(は場 (ha) の 大い の の ま、 がやの有機 が の に 対 の に 対 の に 対 の に 対 が や の で の と に が や の で の と に が や の で の と が や の で の と が や の で の と に が や の で の と が や の で の で の で の で の で の で の で の で の で の	目標値値率 環域成果制で認は をや名名に降路で との 医地域で との との との との との との との との との との との との との	340 296 87.1% ・ 今 構築とは現積にためます。 はいたたたり指したを を目指した本	360 306 85.09 後 ガニックフ県 の増加は、達文 いいて目標は今、 事業にて、	の カ エスタ等店の1 お品企業至の1 たでででのくれている。 大はででのくれている。 大はでででのくれている。 大はででのくれている。 大はででのくれている。 大はできなし、機関である。 大はできない。 大はない。 もなない。 大はない。 大はない。 大はなない。 大はなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	# C
	有機農産物生産 (H29 ~ R1 拡大する有機農ため、共同出荷体成により、中山間産物の生産拡大と 区分 平成30年予算 6,46決算 6,12	流通拡大推進) 世 室物のマーケットが 制の構築や新たが 地域の特性を活が 産地化を図る。 度 令和元年度 9 5,152 7 4,732	事業 地域農業振興課 に対応する は担い手の育いした有機農 令和2年度	①消費者に対するPRイベントの開催支援 1,925 ②県内量販店での流通体制の整備対策 1,793 ③グループでの生産販売への取組支援 1,434	消費者へのPR 県内量販店での 取扱い店舗数 有機農産物の生 り組んだグルー	R回数 [累計:回] 京機農産物 [店] 正産拡大に取 -ブ数	目標績成標績成標績成標績成標績成標績 自実績成標績	24 27 112. 5% 16 16 100. 0% 10 8 80. 0%	36 39 108.3% 24 16 66.7% 15 12 80.0%		有権 有権 が が が が が が が が が が	A S 認	(は場 (ha) の 大い の の ま、 がやの有機 が の に 対 の に 対 の に 対 の に 対 が や の で の と に が や の で の と に が や の で の と が や の で の と が や の で の と に が や の で の と が や の で の で の で の で の で の で の で の で の で の	目標値 実績で 産成果 日荷体で認い 日荷体で認い 日荷体で認い 日本 本 に 開び 日本 本 に 開び 日本 本 に 関び 日本 本 に 関づ 日本 な 日本 な 日本 な 日本 な 日本 な 日本 な 日本 な 日本 な	340 296 87.1%・ウスター 37.1%・ウスター 47.1%・カー	360 306 85.09 後 ガニックフ県食の いては標は今、 に ま に な が に が に が に が に が に が に が に が に が に	の方 エスタ等の1 内力量能がありる 日本で終りませれなからい。 はで終す有機里 での有機里	会計 イ路 うた後生 を産
	有機農産物生産 (H29 ~ R1 拡大する有機農 ため、共同出荷体成により、中山間産物の生産拡大と 区分 平成30年 予算 6,46 決算 6,12	流通拡大推進) 世 室物のマーケット 制の構築や新ただ 地域の特性を活が 産地化を図る。 度 令和元年度 9 5,152 7 4,732 事業概要・	事業 地域農業振興課 地域に対応する は担い手の育いした有機農 令和2年度 予算額	①消費者に対するPRイベントの開催支援 1,925 ②県内量販店での流通体制の整備対策 1,793 ③グループでの生産販売への取組支援 1,434 主な事業内容	消費者へのPR 県内量販店での 取扱い店舗数 有機農産物の生 り組んだグルー [累計	R回数 [累計:回] (京計:原] (京語) (宗語) (宗記) (宗記) (宗語) (宗記) (目標績成標績成標績成標績成標績成標績 自実績成標績	24 27 112.5% 16 16 100.0% 10	36 39 108.3% 24 16 66.7% 15 12 80.0%	う和2年度	有機 事 ルをつ業産「制 の大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの	A S 認	[ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (目集値値率 横續成果の標準を 所成 のでででである。 は、一般では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	340 296 87.1% ・ 、 今 構築に場面積たた場面積たたた本 域をり加速化化を り加速化を り加速化を りができる。	360 306 85.09 後 ガニックフ県 の増加は、達文 いいて目標は今、 事業にて、	の方 エスタ等の1 内力量能がありる 日本で終りませれなからい。 はで終す有機里 での有機里	全 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	有機農産物生産 (H29 ~ R1 拡大する有機農ため、共同出荷体成により、中山間産物の生産拡大と 区分 平成30年予算 6,46決算 6,12	流通拡大推進) 世 室物のマーケット 制の構築や新ただ 地域の特性を活が 産地化を図る。 度 令和元年度 9 5,152 7 4,732 事業概要・	事業 地域農業振興課 地域に対応する は担い手の育いした有機農 令和2年度 予算額	 ①消費者に対するPRイベントの開催支援 ②県内量販店での流通体制の整備対策 ③グループでの生産販売への取組支援 1,434 主な事業内容 ①県域での有機野菜生産出荷 	消費者へのPR 県内量販店での 取扱い店舗数 有機農産物の生 り組んだグルー [累計	R回数 [累計:回] (京計:原] (京語) (宗語) (宗記) (宗記) (宗語) (宗記) (目標績成標績成標績成標績成標績成標績 自実績成標績	24 27 112. 5% 16 16 100. 0% 10 8 80. 0%	36 39 108.3% 24 16 66.7% 15 12 80.0%	う和2年度	有機 J が 事 が かいま が で が を つ 変 差 よ は 出 荷 体 出 が は 出 市 か と な 等 者 「 制	A S 認	[ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (目標値 実績で 産成果 日荷体で認い 日荷体で認い 日荷体で認い 日本 本 に開び 日本 本 に 開び 日本 本 に 開び 日本 本 に 開び 日本 な に 関い 日本 は と に 関い 日本 は と に と に し に し に し に し に し に し に し に し に	340 296 87.1%・ウスター 37.1%・ウスター 47.1%・カー	360 306 85.09 後 ガニックフ県食の いては標は今、 に ま に な が に が に が に が に が に が に が に が に が に	の方 エスタ等の1 内力量能がありる 日本で終りませれなからい。 はで終す有機里 での有機里	全 全 イ ベ構大。
	有機農産物生産	流通拡大推進 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事業 地域農業振興課 に対い手の改せした有機農 令和2年度 予算額 速化事業 地域農業振興課	①消費者に対するPRイベントの開催支援 1,925 ②県内量販店での流通体制の整備対策 1,793 ③グループでの生産販売への取組支援 1,434 主な事業内容 ①県域での有機野菜生産出荷体制及び省力化機械の整備	消費者へのPR 県内量販店での 取扱い店舗数 有機農産物の生 り組んだグルー [累計	R回数 [累計:回] (京計:原] (京語) (宗語) (宗記) (宗記) (宗語) (宗記) (目実達目実達目実達 選成標績成標績成標績成標績成成標績成成成成成成	24 27 112. 5% 16 16 100. 0% 10 8 80. 0%	36 39 108.3% 24 16 66.7% 15 12 80.0%	う和2年度	有機 事 ルをつ業産「制 の大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの	A S 認	[ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (目集値値率 横續成果の標準を 所成 のでででである。 は、一般では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	340 296 87.1%・ウスター 37.1%・ウスター 47.1%・カー	360 306 85.09 後 ガニッククリー の増ては標準のいては標準ない、事業によっていい。 ・本のでは、本本のでは、本本のでは、本本のでは、本本のでは、本本のでは、本本のでは、またいいいいできない。	を の 方 エスタ等のI 対量販売への 対量販売のなかなかなかなかなかなかなかなかながなかながながながながながながながながながな	全 全 イ ベ構大。
	有機 農産物生産 (H29 ~ R1 拡大する有機農ため、共同出荷体成により、中山間産物の生産拡大と 区分 平成30年予算 6,46 決算 6,12 事業名・3 「おおいたの有材 (R1 ~ R3 「儲かる有機農業	流通拡大推進 対 産物のマーケット 制の構築や性を形だが 地域の特と図る。 度 令和元年度 9 5,152 7 4,732 事業概要・ 動産地づくり加 対 を実現するため、	事業 地域農業振興課 に対い手の機 に対い手有機農 令和2年度 予算額 速化事業 地域農業産 有機農業産	 ①消費者に対するPRイベントの開催支援 ②県内量販店での流通体制の整備対策 ③グループでの生産販売への取組支援 1,434 主な事業内容 ①県域での有機野菜生産出荷 	消費者へのPR 県内量販店での 取扱い店舗数 有機農産物の生 り組んだグルー [累計	R回数 [累計:回] (京計:原] (京語) (宗語) (宗記) (宗記) (宗語) (宗記) (目実達目実達 目実達 達目実施 植値率値値率値値率値値率 度値値	24 27 112. 5% 16 16 100. 0% 10 8 80. 0%	36 39 108.3% 24 16 66.7% 15 12 80.0%	う和2年度 12	有機 事 ルをつ業産「制 の大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの	A S 認定	[ha] の 共、有高県有営 標 額 原野 () 標 額 原野 () () 原野 () 原	目集値値率 成 果 制で記げる という を 名 S 記 伴 開 で 記 に と い か 産 地 外 の 則 産 と 単 で 成 度 値	340 296 87.1%・ウスター 37.1%・ウスター 47.1%・カー	360 306 85.09 後 ガニックフ県 いては、連次の単、は は、事業は今、県、 を進めてい 令和元年度 225	の 方 エスタ等の1 力量販店の取り 日本は至いなれて まにはで終めるし、 要域ぐ。 を和2年月 262	全量・
	有機農産物生産 (H29 ~ R1 拡大する有機農産物生産	流通拡大推進 ・	事業 地域農業 業振興る 会社の 会社の 会社の 会社の 会社の 会社の 会社の 会社の	 ①消費者に対するPRイベントの開催支援 ②県内量販店での流通体制の整備対策 ③グループでの生産販売への取組支援 主な事業内容 ①県域での有機野菜生産出荷体制及び省力化機械の整備支援 8,787 ②SNS等を活用した消費者 	消費者へのPR 県内量販店での 取扱い店舗数 有機農産物の生 り組んだグルー [累計 活 動 産地化に取り組 サポーターによ	[累計:回] (回数 [累計:回] (京] (下) (下) (下) (下) (下) (下) (下) (下)	目実達目実達 目実達 達目実施 植値率値値率値値率値値率 度値値	24 27 112. 5% 16 16 100. 0% 10 8 80. 0%	36 39 108.3% 24 16 66.7% 15 12 80.0% 令和元年度 年	· 和2年度 12 一	有機 事 ルをつ業産「制 の大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの、大きの	A S 認定 業 に は お が 者 携 た ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	[ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (ha] (目実達成果の記点を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	340 296 87.1%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	360 306 85.09 後 ガニックフ県の増加は標準のいては標準は小い、事業に大きを進めてい 令和元年度 225 219 97.38	の 方 エスタ等の1 力量販店の取り 日本は至いなれて まにはで終めるし、 要域ぐ。 を和2年月 262	全量・
111 No.	有機農産物生産 (H29~R1 拡大する有機機 成によりなる有荷両間産物の生産拡大と 区分 平成 30 年 予算 6,46 決算 6,12 事業名・有 (R1 ~ R3 値かを発引する者も を変引するする者等の して、 (R1 ~ R3 を変別すると考等	流通拡大推進 1	事業 地域に担いた 会	 ①消費者に対するPRイベントの開催支援 ②県内量販店での流通体制の整備対策 ③グループでの生産販売への取組支援 1,434 主 な 事 業 内 容 ①県域での有機野菜生産出荷体制及び省力化機械の整備支援 8,787 ②SNS等を活用した消費者への県産有機農産物の情報 	消費者へのPR 県内量販店での 取扱い店舗数 有機農産物の生 り組んだグルー [累計 活 動 産地化に取り組	[累計:回] (回数 [累計:回] (京] (下) (下) (下) (下) (下) (下) (下) (下)	目実達目実達 目実達 達目実達 信値 率値値率値値率 度値値率 度値値率	24 27 112. 5% 16 16 100. 0% 10 8 80. 0%	36 39 108.3% 24 16 66.7% 15 12 80.0% 令和元年度 10 11	今和2年度 12 - -	有面 事 ルをつ業を は出 主 事 機 経	A S 認定 業化した産産・ によれば者携た・ 指 	[ha] [ha] の 表表、がやの重 の 共、有高県有営 標額 「 売額 「 万円 」 「「 7	目実達成は 本本Sに路地県 横續成果のの定いれるくの 東 のの定いれるくの 東 で	340 296 87.1%・・ オース 196 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47	360 306 85.09 後 グクフ県食成 に 事業に を進め 令和元年度 225 219 97.39 後	の 方 の 方 の 方 の 方 の 方 の 方 の 方 の 方	せ ・
111 No.	有機農産物生産 (H29 ~ R1 拡大する有機農産物生産	流通拡大推進 1	事業 地域に担いた 会	 ①消費者に対するPRイベントの開催支援 ②県内量販店での流通体制の整備対策 ③グループでの生産販売への取組支援 1,434 主な事業内容 ①県域での有機野菜生産出荷体制及び省力化機械の整備支援 ②SNS等を活用した消費者への県産有機農産物の情報発信 	消費者へのPR 県内量販店での 取扱い店舗数 有機農産物の生 り組んだグルー [累計 活 動 産地化に取り組 サポーターによ	[累計:回] (「累計:回] (「東計:回] (「有機農産物 (「店] (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」	目実達目実達 達目実達 目実達 目実達目実達目実達目実達目実達 目実達 目実達	24 27 112. 5% 16 16 100. 0% 10 8 80. 0%	36 39 108.3% 24 16 66.7% 15 12 80.0% 令和元年度 年 10 11 110.0%	今和2年度 12 - - 120	有面	A S 認定	[お場 [ha] の る果、がやの運 標 額 「万円 パイ	目実達成 果のの定いが3人の異様 横横成 果のの定いが3人の異様 横横成 果のの定いが3人の異様 横横成 果のの定いが3人の異様 横成 よる菜 は 上げ とり	340 296 87.1% ・	360 306 85.09 後 ガニックフ県食成い、事業に必ずの地では標準は、い、事業に必ずの地ででででである。 事業に必ずる。 令和元年度 225 219 97.39 後 標案や県とと	の 方 エスタの1 一 大量販売へ取り 大量販売の取り 大量にはで終めるし、 要域く。 を 令和2年月 262 一 の 方 等にの体制 最関域での体制	全計 不 中 の 中 の 中 の 中 の 中 通 中 通 中 体
111 No.	有機農産物生産 (H29~R1 拡大する有機機体成にする可能性成になり生産拡大と 区分 平成 30年 予算 6,46 決算 6,12 事業名・1 「おおいたの有材 (R1~R3 機農・変形を発展である。 R1 を発展である。 R1 を表現である。 R1 を	流通拡大推進 1	事業 機関 東大学 東大学	 ①消費者に対するPRイベントの開催支援 ②県内量販店での流通体制の整備対策 ③グループでの生産販売への取組支援 1,434 主 な 事 業 内 容 ①県域での有機野菜生産出荷体制及び省力化機械の整備支援 8,787 ②SNS等を活用した消費者への県産有機農産物の情報 	消費者へのPR 県内量販店での 取扱い店舗数 有機農産物の生 り組んだグルー [累計 活 動 産地化に取り組 サポーターによ	[累計:回] (「累計:回] (「東計:回] (「有機農産物 (「店] (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」	目実達目実達目実達 達目実達目実達 個値値率値値率値値率 度値値率値値率	24 27 112. 5% 16 16 100. 0% 10 8 80. 0%	36 39 108.3% 24 16 66.7% 15 12 80.0% 令和元年度 年 10 11 110.0% 60 419	今和2年度 12 - - 120	有面 グトに若生、荷 成 要 事 機能のたも 機能のため と を は出 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	A S 製	[ま場 [ha] のる果、がやの運 売 万 の ル結 への 大、有高県有営 標 額 ア フ の ル に へ の ル に へ の 水 に で の ル に へ の し に で の ル に へ の し に で の い に へ の い に へ の い に へ の い に へ の い に へ い に へ い に へ い に い に か に い に か に い に か に い に か に い に い	目実達成 世界 で記げ開び外 成標績成果の定い拓くの 度値値率果のの定い拓くの 度値値率果 せや すれ とり を で と し と し を で と で と で と で と で と で と で と で と で と で	340 296 87.1% ・	360 306 85.09 後 ジーマー・ のいて目標はて、でいい、事業に進めて、この 令和元年度 225 219 97.39 後 県内としました。	の 方の 方の 子の	全計 不 PR 販扱から菜 PR PR PR PR <th< td=""></th<>
111 No.	有機農産物生産 (H29~R1 拡大する有機機体成になり、共変に対した。 (H29~R1	流通拡大推進 ・	事業 事業 機大・ を対した 令和2 電子 でも、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	 ①消費者に対するPRイベントの開催支援 ②県内量販店での流通体制の整備対策 ③グループでの生産販売への取組支援 1,434 主な事業内容 ①県域での有機野菜生産出荷体制及び省力化機械の整備支援 ②SNS等を活用した消費者への県産有機農産物の情報発信 	消費者へのPR 県内量販店での 取扱い店舗数 有機農産物の生 り組んだグルー [累計 活 動 産地化に取り組 サポーターによ	[累計:回] (「累計:回] (「東計:回] (「有機農産物 (「店] (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」	目実達目実達目実達 達目実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日実達日産 位値率値値率値値率値値率値	24 27 112. 5% 16 16 100. 0% 10 8 80. 0%	36 39 108.3% 24 16 66.7% 15 12 80.0% 令和元年度 年 10 11 110.0% 60 419	今和2年度 12 - - 120	有面 グトに若生、荷 成 要 事 機能のたも 機能のため と を は出 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	A S 製	[ま場 [ha] の 表果、がやの運 売 万 の 一果 の 大、有高県有営 標 額 一果 の 一果 の アイス の 一果 の 下	目実達成 世界 で記げ開び外 成標績成果の定い拓くの 度値値率果のの定い拓くの 度値値率果 せや すれ とり を で と し と し を で と で と で と で と で と で と で と で と で と で	340 296 87.1% ・	360 306 85.09 後 ジーマー・ のいて目標はて、でいい、事業に進めて、この 令和元年度 225 219 97.39 後 県内としました。	の 方の 方の 子の	全計 不 PR 販扱から菜 PR PR PR PR <th< td=""></th<>
111 No.	有機農産物生産 (H29~R1 拡大する有機機体成にする可能性成になり生産拡大と 区分 平成 30年 予算 6,46 決算 6,12 事業名・1 「おおいたの有材 (R1~R3 機農・変形を発展である。 R1 を発展である。 R1 を表現である。 R1 を	流通拡大推進 1	事業 機関 東大学 東大学	 ①消費者に対するPRイベントの開催支援 ②県内量販店での流通体制の整備対策 ③グループでの生産販売への取組支援 1,434 主な事業内容 ①県域での有機野菜生産出荷体制及び省力化機械の整備支援 ②SNS等を活用した消費者への県産有機農産物の情報発信 	消費者へのPR 県内量販店での 取扱い店舗数 有機農産物の生 り組んだグルー [累計 活 動 産地化に取り組 サポーターによ	[累計:回] (「累計:回] (「東計:回] (「有機農産物 (「店] (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」 (「店」	目実達目実達目実達 達目実達目実達 個値値率値値率値値率 度値値率値値率	24 27 112. 5% 16 16 100. 0% 10 8 80. 0%	36 39 108.3% 24 16 66.7% 15 12 80.0% 令和元年度 年 10 11 110.0% 60 419	今和2年度 12 - - 120	有面 グトに若生、荷 成 要 事 機能のたも 機能のため と を は出 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	A S 製	[ま場 [ha] の 表果、がやの運 売 万 の 一果 の 大、有高県有営 標 額 一果 の 一果 の アイス の 一果 の 下	目実達成 は 本本 S に路地県 横續成 果のの定い拓くの 度値値率 果のの定い拓くの 度値値率 果 共や る菜 や有 を を しまます で ままま で まままま で まままま で まままま で まままま で ままままま で まままま で まままま で まままま で まままま で ままままま で ままままま で ままままま で まままままま	340 296 87.1% ・	360 306 85.09 後 ジーマー・ のいて目標はて、でいい、事業に進めて、この 令和元年度 225 219 97.39 後 県内としました。	の 方の 方の 子の	全計 不 PR 販扱から菜 PR PR PR PR <th< td=""></th<>

Mo	車	宝 娄 夕	· •	業 概 要・	子 質 好	主 な 事 業 内 容	活動指	標達	* ct re v	△成30年度 令	和二年度	◇チョュゥ左 産	成	果 指	章 標	法出由	平成30年度	会和二年的	△ ≨n 9 左 戌	# =
NO.		,,,,		** 'M. 安 拡大推進事		①県産品を利用する食品企業	加工業務用農産物の栽		標値	24	24		食品企業				平成30年及 24	サモルルギタ 24	24	
	尺		=175.9E.PG; ~ R4)		★ ゙ランド推進課	の加工施設整備等への補助	大面積	,	[] [] [] [] [] [] [] [] [] []	41	25		た生産・				25	28		\vdash
	1	(/	水産物の付加		445, 064		[ha] 達		170. 8%	104. 2%		 [マッチン	. H 🛳 . 🛪		7 THE THE				⊣ ^ ∣
				:なる経営体の		②産地の育成・拡大を行う農 業組織の機械整備等への補	商品化支援件数		標値	2	2	2	エマッテン	業		山	· 今		<u>ー</u> の方	針
13				を援し、食品企	業との産地	また。 ・ 大型版の一般恢要順等・の分開 助	问即几人及广教		徐旭 [[[0	5		+	714	- 1	77-	マープラ 商工連携担当	D.		
13	のっ	マッチンク	ブを強化す	⁻ る。		9, 540				v			により、	食品企業	業と産地	のマッチン	グが進み、ほ			
	127	八亚라	20 左 座	入和一左座	今和0左 库	③フードマーケターのマッチ	食品企業の意向調査数	[件] 達		0.0%	250. 0%		用業務露:				応した生産・	出荷体制の	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	こいくと
	区			令和元年度		ング活動経費等 2,510	及印正未少息的响且效	. H	標値	150	150	150					次加工体制の	構築を進め	ていく。	. , _
	予 決		33, 835 32, 863	459, 209	175, 481	2, 010			F. 積値	163	150							(翌年度裸想	額 136,170	0十円)
	伏:	异	32,803	306, 504	_			[社] 達	色以学	108. 7%	100.0%									
No.	事	革業 名	· 事	業 概 要 ・	予 算 額	主 な 事 業 内 容	活動指	標達	産成度 平	☑成30年度 令	和元年度 4	令和2年度	成	果 指	編標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	度 評価
	活:	力あふれ	る園芸	全地整備事 第	Ė	①戦略品目の振興のための施	事業担当者会議の開催	回数 目	標値	4	4	4	園芸戦略	略品目(の生産	目標値	28. 0	45. 0	63.0	-
		(H28 ~			園芸振興課	設整備等に対する助成		実	 毛績値	4	5	_	拡大面積	漬		実績値	50. 2	49. 8	_	T A I
	ij	銭略品目σ	産出額の)さらなる向上	た図るた	- 1,181,124 ②戦略品目ネクストの振興の		[回] 達	を成率	100.0%	125.0%	_			[ha] 達成率	179. 3%	110. 79	<u> </u>	
				対培施設の整	を備等に要す	ための施設整備等に対する	新規就農者による事業	活用目	標値	20	20	20	事	業	の	成果	· 今	後	の方	針
14	お	経費に対し	ン 助放する	0.		助成		実	ミ績値	24	37	_					ャベツなどの			
						311,461 ③一般園芸品目の振興のため		[人] 達	を成率	120.0%	185. 0%	_					農業者や企業 品目の栽培面			
	区	分平成	30年度	令和元年度	令和2年度	の施設整備等に対する助成	園芸振興にかかる研修	会の目	標値	2	2	2	た。							
	子:	算 1,9	985, 337	1, 754, 362	2, 291, 997	254, 498	開催回数	実	ミ 績値	3	2	_	対して			导人の推進	や資産継承へ	・の文仮を行い	八、風云而日	の生産
	決	算 7	64, 105	313, 127				[回] 達	を成率	150.0%	100.0%	_					(翌年度繰越額	1, 298, 283	3千円)
	+	→ M/A ←		Mic. Int. art	→ hhr Jur)	V	Love No. L		+ In				H 11.	e Inc	3-44 B				
No.				業概要・	予 算 額	主な事業内容				区成30年度 令				果指			平成30年度			
No.		乳消費拡	大推進			①小学生を対象とした施設見	活動指見学受入回数	目	標値	16	30	40	成 :			目標値	3,000	5, 000	6, 000	
No.	牛	乳消費拡 (H28 ~	大推進 ~ R3)	事業	畜産振興課			目実	標値	16 16	30 17	40			加人数	目標値 実績値	3, 000 3, 575	5, 000 4, 620	6,000	
No.	牛!	乳消費拡 (H28 〜 酪農等に対	大推進 ~ R3) けする消費	事業 骨者の理解醸成	畜産振興課 なと県産牛乳	①小学生を対象とした施設見 学等県産牛乳理解啓発活動 の経費支援 702	見学受入回数	目 実 [回] 達	目標値 系績値 を成率	16 16 100.0%	30 17 56. 7%	40	イベン	卜等参	加人数	目標値 実績値 達成率	3, 000 3, 575 119. 2%	5, 000 4, 620 92. 49	6, 000 — —	В
	牛・	乳消費拡 (H28 〜 路農等に対 消費拡大に 集上で実施	大推進 ~ R3) 付する消費 に向け、生	事業	畜産振興課 なと県産牛乳 ニーカー等が	①小学生を対象とした施設見 学等県産牛乳理解啓発活動 の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農		目 [回] 達 【 目	目標値 に積値 を成率 目標値	16 16 100.0% 17	30 17 56. 7% 18	40 18	チョ	卜等参 加	加人数 [人 の	目標値 実績値 達成率 成 果	3,000 3,575 119.2% · 今	5, 000 4, 620 92. 49	6,000 - 6 - の 方	B
	牛! 酉	乳消費拡 (H28 〜 路農等に対 消費拡大に 集上で実施	大推進 ~ R3) 付する消費 に向け、生	事業 骨者の理解醸成 E産者と乳業メ	畜産振興課 なと県産牛乳 ニーカー等が	①小学生を対象とした施設見 学等県産牛乳理解啓発活動 の経費支援 702	見学受入回数	日 [回] 達 (目 実	目標値 実績値 を成率 目標値 実績値	16 16 100.0% 17 17	30 17 56. 7% 18 16	40 - - 18 -	イベン 事 イベン より県内	ト等参加 業 ト等参加 小中学生	加人数 [人 の 叩人数は 主を中心	目標値 実績値 達成率 成果 目標を下回 に消費者の:	3,000 3,575 119.2% ・ 今 ったが、学校 理解醸成が図	5,000 4,620 92.49 後 での搾乳体!	6,000 - 6 - の 方 験や牧場受入	針体験に
	牛! 西洋 で 連打 する	乳消費拡 (H28 〜 酪農等に対 消費拡大に 携して実施 る。	大推進 ~ R3) けする消費 に向け、生 面する酪農	事業 骨者の理解醸成 E産者と乳業メ &体験イベント	畜産振興課 なと県産牛乳 ロカー等が などを支援	①小学生を対象とした施設見 学等県産牛乳理解啓発活動 の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農 体験実施支援	見学受入回数	E E E E E E E E E E	標値を減率に積値を減率に積値を成率	16 16 100.0% 17	30 17 56. 7% 18	40 18	イ ベン 事 べ県内より後は、	ト等参加 業 ト等参加 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	加人数 【人 の 加人数は 主を中心 こ作成し	目標値 実績値 達成率 成果 同標費費の た啓発資材	3,000 3,575 119.2% ・ <i>今</i> ったが、学校 理解醸成が図 (教材)を有効	5,000 4,620 92.49 後 での搾乳体 られた。	6,000 - 6 - の 方 験や牧場受入	針体験に
	牛!	乳消費拡 (H28 ^ 路農等に対 消費拡大に 携して実施 る。 分 平成	大推進 - R3) けする消費 - 向け、生 をする酪農	事業 対者の理解醸成 三産者と乳業メ 後体験イベント 令和元年度	畜産振興課 さと県産牛乳 ニーカー等が などを支援 令和2年度	①小学生を対象とした施設見 学等県産牛乳理解啓発活動 の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農 体験実施支援	見学受入回数	目 (回)達 (回)達 (回)達	標値 震績値 を放標値 に積値 を成標値 に積値率 に対する。	16 16 100.0% 17 17	30 17 56. 7% 18 16	40 - - 18 -	イ ベン 事 べ県内より後は、	ト等参加 業 ト等参加 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	加人数 【人 の 加人数は 主を中心 こ作成し	目標値 実績値 達成率 成果 同標費費の た啓発資材	3,000 3,575 119.2% ・ 今 ったが、学校 理解醸成が図	5,000 4,620 92.49 後 での搾乳体 られた。	6,000 - 6 - の 方 験や牧場受入	針体験に
	牛!	乳消費 加 (H28 ~ 路農等に対 消費 拡大に 携して実施 る。 分 平成 算	大推進 R3) けする消費 に向け、生 でする酪農 30 年度 1,189	事業 党者の理解醸成 E産者と乳業メ 操体験イベント 令和元年度 1,566	畜産振興課 なと県産牛乳 ーカー等が などを支援 令和2年度 2,045	①小学生を対象とした施設見 学等県産牛乳理解啓発活動 の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農 体験実施支援	見学受入回数	[回]	標値を養成では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	16 16 100.0% 17 17	30 17 56. 7% 18 16	40 - - 18 -	イ ベン 事 べ県内より後は、	ト等参加 業 ト等参加 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	加人数 【人 の 加人数は 主を中心 こ作成し	目標値 実績値 達成率 成果 同標費費の た啓発資材	3,000 3,575 119.2% ・ <i>今</i> ったが、学校 理解醸成が図 (教材)を有効	5,000 4,620 92.49 後 での搾乳体 られた。	6,000 - 6 - の 方 験や牧場受入	針体験に
	牛!	乳消費 加 (H28 ~ 路農等に対 消費 拡大に 携して実施 る。 分 平成 算	大推進 - R3) けする消費 - 向け、生 をする酪農	事業 対者の理解醸成 三産者と乳業メ 後体験イベント 令和元年度	畜産振興課 さと県産牛乳 ニーカー等が などを支援 令和2年度	①小学生を対象とした施設見 学等県産牛乳理解啓発活動 の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農 体験実施支援	見学受入回数	[回]	標値 震績値 を放標値 に積値 を成標値 に積値率 に対する。	16 16 100.0% 17 17	30 17 56. 7% 18 16	40 - - 18 -	イ ベン 事 べ県内より後は、	ト等参加 業 ト等参加 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	加人数 【人 の 加人数は 主を中心 こ作成し	目標値 実績値 達成率 成果 同標費費の た啓発資材	3,000 3,575 119.2% ・ <i>今</i> ったが、学校 理解醸成が図 (教材)を有効	5,000 4,620 92.49 後 での搾乳体 られた。	6,000 - 6 - の 方 験や牧場受入	針体験に
	4 ・	乳消費 拡 (H28 〜 8 農等に文 消費して実施 る。 分 平成 算	大推進 R3) 対する消費 に向け、生 をする酪農 30 年度 1,189 1,189	事業 党者の理解醸成 E産者と乳業メ 操体験イベント 令和元年度 1,566	畜産振興課 なと県産牛乳 ニーカー等が などを支援 令和2年度 2,045 ー	①小学生を対象とした施設見 学等県産牛乳理解啓発活動 の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農 体験実施支援	見学受入回数 酪農体験イベント回数	[回]	標値を表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、	16 16 100.0% 17 17 100.0%	30 17 56.7% 18 16 88.9%	40 - - 18 -	イ ベン 事 イリウム イリー イリー イリー イリー イリー イリー イリー イリー イリー イリー	ト等参加 業 ト等参加 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	加人数 【人 の 加入数は心 上を中成し こで作成開催	目標値 実績 成果 成 下書資 成 でま 音 で 者 変 で 者 資 で 者 資 で 者 う で き る で う さ う た う と う と う と う り る り る り る り る り る り る り る り る り る り	3,000 3,575 119.2% ・ <i>今</i> ったが、学校 理解醸成が図 (教材)を有効	5,000 4,620 92.49 後 での搾乳体 られた。	6,000 - の 方 険や牧場受入 より充実した	針、体験に
	4 の連す 区 予決	乳消費が (H28 〜 (H28 〜 路農費に大に	大推進 ~ R3) 対する消費 に向ける略 でする略 が 30 年度 1,189 1,189	事業 骨者の理解醸成 E産者と乳業メ 身体験イベント 令和元年度 1,566 1,514	畜産振興課 なと県産牛乳 ・カー等が かなどを支援 令和2年度 2,045 ー	①小学生を対象とした施設見学等県産牛乳理解啓発活動の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農体験実施支援 615	見学受入回数 酪農体験イベント回数	[回] [] 	標値を表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、	16 16 100.0% 17 17 100.0%	30 17 56.7% 18 16 88.9%	40 ————————————————————————————————————	イ ベン 事 イリウム イリー イリー イリー イリー イリー イリー イリー イリー イリー イリー	ト等参り 業 等参学学 ト小、新とで存 と で存	加人数 【人 の 加入数は心 上を中成し こで作成開催	目標値 実績 成果 成 下書資 成 でま 音 で 者 変 で 者 資 で 者 資 で 者 う で き る で う さ う た う と う と う と う り る り る り る り る り る り る り る り る り る り	3,000 3,575 119.2% ・ 今 ったが、学校 理解醸成が区 (教材)を有効加人数の増加	5,000 4,620 92.49 での搾乳体 られた。 に活用し、 に答める。	6,000 - の 方 険や牧場受入 より充実した	針 (体験に と啓発活
	4 の連す 区 予決	乳消費が (H28 〜 (H28 〜 路農費に大に	大推進 - R3) - R3) - 計 - 計 - 計 - 計 - 1,189 - 1,189 - ・ - 事 - の - の - あ - の - あ - か - 1 -	事業 骨者の理解酸成 三産者と乳業メ 身体験イベント 令和元年度 1,566 1,514 業 概 要・	畜産振興課 なと県産牛乳 ・カー等が かなどを支援 令和2年度 2,045 ー	①小学生を対象とした施設見学等県産牛乳理解啓発活動の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農体験実施支援 615	見学受入回数 酪農体験イベント回数 活動指	[回]	標値 震續値 整成率 目標値 系績値 系績値 系績値 を成率 を成率 を成率 を成本 を成本 を成本 を成本 を成本 を成本 を成本 を成本	16 16 100.0% 17 17 100.0%	30 17 56.7% 18 16 88.9%	40 — — — — — — — — — — — — — — —	イベン 事 イリーラ イリーラ を そ を 行う 成	ト等参り 業 等参学学 ト小、新とで存 と で存	加人数 【人 の 加入数は心 上を中成し こで作成開催	目 標値値率 果 回の材参	3,000 3,575 119.2% ・ 今 ったが、学校 理解解成が区 (教材)を有効加人数の増加	5,000 4,620 92.49 後 での搾乳体! られた。 に活用し、 に活用し、 に答める。	6,000 - の 方 飲や牧場受入 より充実した	針 (体験に と啓発活
	4 の連す 区 予決 果!	乳消費が (H28 〜 (H28 〜 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	大推進 ~ R3) 対する消費生 向け、高 30 年度 1,189 1,189 ・ 事 ~ R4)	事業 骨者の理解酸成 三産者と乳業メ 身体験イベント 令和元年度 1,566 1,514 業 概 要・	畜産振興課 さと県産牛乳が などを支援 令和2年度 2,045 一 予算額 対策事業 畜産振興課	①小学生を対象とした施設見学等県産牛乳理解啓発活動の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農体験実施支援 615	見学受入回数 酪農体験イベント回数 活動指	[回]	標値 標値 率 標値 率 標値 率 値値 率 値値 率 値値 率 値値 率 度値 基 標値 率 上 積値 率 上 積値 率 上 積値	16 16 100.0% 17 17 100.0%	30 17 56.7% 18 16 88.9%	40 — — — — — — — — — — — — — — —	イベン 事 イリーラ イリーラ を そ を 行う 成	ト等参加 業 参与性に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	加人数 「人 の 加入を中心して に な い は な に な い は な に な に な い は に な に な に な に な に な に な に な に は に に な に は に に な に は に に に に	目実達成果回の材参 産目 実績 成 果回の材参 産 目 実績 値値 率 とす者 変 及 成 標 積 積 担 実 値 値	3,000 3,575 119.2% ・ 今 ったが、学校 理解解成が区 類加人数の増加 平成30年度 120 121	5,000 4,620 92.49 後 での搾乳体 られた。 に活用し、 に活用し、 に努める。	6,000 - の 方	針 (体験に 上啓発活
	中 画 の連れる 区 予 決 事 リン	乳消費が (勝費し、	大推進 ~ R3) 対す向ける 対す向ける 8 30 年度 1,189 1,189 ・ 事 3 ・ 取あ」) ※ 家のち上げ	事業 骨者の理解醸成 産者と乳業メ 身体験イベント 令和元年度 1,566 1,514 業 概 要・ 競争力強化3	畜産振興課 えと県産牛乳が などを支援 令和2年度 2,045 一 予算額 対策事業 高産派一ブ	①小学生を対象とした施設見学等県産牛乳理解啓発活動の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農体験実施支援 615	見学受入回数 酪農体験イベント回数 活動指	[回] [回] [回] [回] [回] [回] [回] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四	標値 響点 標値 率 標値 率 標値 率 値値 率 値値 率 度値 値 率 度値 値率 度値 値率 度値 値率 と で 変 で 変 で で 変 で で で で で で で で で で で で	16 100.0% 17 17 100.0% ^Z 成30年度 令 10 13	30 17 56.7% 18 16 88.9% か和元年度 10 12 120.0%	40 — 18 — — 合和2年度 10 —	イベン 事 イリーラ イリーラ を そ を 行う 成	ト等参加 業 参与性に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	加人数 「人 の 加入を中心して に な い は な に な い は な に な に な い は に な に な に な に な に な に な に な に は に に な に は に に な に は に に に に	目標値値率 成標消費発び成標消費発び成標 標準 標準 を す 者 変 及 成 標	3,000 3,575 119.2% ・ 今 ったが、学校 理解解成が区 類加人数の増加 平成30年度 120 121	5,000 4,620 92.49 後 での搾乳体 られた。 に活用し、 に努める。 130 132 101.59	6,000 - の 方	針 (体験に 上啓発活
	中 「 「	乳消費が (H28 に大に施	大推進 ~ R3) 対す向ける 対す向ける 8 30 年度 1,189 1,189 ・ 事 3 ・ 取あ」) ※ 家のち上げ	事業 者の理解醸成 産者者と乳業メ 身体験イベント 令和元年度 1,566 1,514 業 概 要・ 競争力強化3 身向上を図るた	畜産振興課 えと県産牛乳が などを支援 令和2年度 2,045 一 予算額 対策事業 高産派一ブ	①小学生を対象とした施設見学等県産牛乳理解啓発活動の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農体験実施支援 615 主 な 事 業 内 容 ①「米の恵み」の消費拡大のための販促資材の作成、広告・宣伝活動に対する支援 3,272 ②美味しさの指標とされるオレイン酸含有率を測定する	見学受入回数 酪農体験イベント回数 活 動 指 イベント等開催回数	[回] [回] [回] [回] [回] [回] [回] [回] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四	標値 電標値 電標値 電標値 率	16 100.0% 17 17 100.0% 2成30年度 令 10 13 130.0%	30 17 56.7% 18 16 88.9% 和元年度 10 12 120.0%	40 — — 18 — — — 合和2年度 10	イベン 事 イリラ後を か 動を が 取扱店 事 を 度 後 う を 行 り る を た り る と の た り る と の た り る り る た り る と り る り る と り る と り る と り る と り る と り と り	ト等参加 業等中新とで 下小、こと 果動数 【累計 半の生活	加人数 「人の数・1人の数・1人の数・1人の数・1人の数・1人の数・1人の数・1人の数・1	目実達 成標消啓教及 達目実達 たき者養び 成標績成果回の材参 達目実達 だん 概標績成果 にた回	3,000 3,575 119.2% ・ 今 でたが、学 理解醸成が区 (教材)を有効加人数の増加 平成30年度 120 121 100.8% ・ 今 果、出荷頭類	5,000 4,620 92.49 後 での搾乳体 られた活用し、 に活用し、 に活用し、 に30 130 132 101.59 後 は目標を下	6,000 - の 方 () 方 () かれました ()	金針 (本験に た 啓発活 本)
15	中 「 「	乳消費が (勝費し、	大推進 ~ R3) 対す向ける 対す向ける 8 30 年度 1,189 1,189 ・ 事 3 ・ 取あ」) ※ 家のち上げ	事業 者の理解醸成 産者者と乳業メ 身体験イベント 令和元年度 1,566 1,514 業 概 要・ 競争力強化3 身向上を図るた	畜産振興課 えと県産牛乳が などを支援 令和2年度 2,045 一 予算額 対策事業 高産派一ブ	①小学生を対象とした施設見学等県産牛乳理解啓発活動の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農体験実施支援 615 主 な 事 業 内 容 10「米の恵み」の消費拡大のための販促資材の作成、広告・宣伝活動に対する支援 3,272 ②美味しさの指標とされるオレイン酸含有率を測定するための機器の維持管理	見学受入回数 酪農体験イベント回数 活 動 指 イベント等開催回数	[回] [四] 標 [四] [三] [四] [三] [四] [三] [三] [三] [三] [三] [三] [三] [三] [三] [三	標値 響点 標値 率	16 100.0% 17 17 100.0% 上 元成30年度 令 10 13 130.0% 100,000 1 95,358	30 17 56.7% 18 16 88.9% 和元年度 ⁴ 10 12 120.0% 00,000 99,629	40 - - 18 - - - - - 10 - - 110,000	イベン 事 イリーラを イリーラを イリーラを が 扱店 事 後に 下動等を 後に	ト等参う * *** ** *** *** *** *** *** *** *** *	加人数 「人 の人 の人を中成開開 標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目実達 成標消啓教 達目実達 成標消啓教	3,000 3,575 119.2% ・ 今 で たが 成が が の が が が が が が が が が が が が が が が が	5,000 4,620 92.49 後 での作れた。 に活用し、 に活用し、 に活り 130 132 101.59 後 は目標繁が	6,000 - の 方 険や牧場受入 より充実した 140 - の 方 の 方 の 方 の 方 の 方 の 方 の 方 の 方	野 (本験に と 下 (本) 本 (本) 和 (本
15	4: 面	乳消費拡 () 機費し、 () 機費し、 () とし、 () とし、	大推進 ~ R3) 計すすける おすらける 第 年 第 1,189 1,189 1,189 ・ 恵み) ・ 恵み) ・ 恵み) ・ で でいる ・ で でいる ・ で でいる ・ で でいる ・ でい	事業 者の理解職成 長体験 イベント 令和元年度 1,566 1,514 業 競争力強化 禁 持 か であるた	畜産振興課 さと県産年乳が こなどを支援 令和2年度 2,045 一 予算額 対策事業 無課で かいた。 が、一 のいいでは、 が、一 でいいでする。 でいいでは、 でいいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいなは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいいでは、 でいなは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、	①小学生を対象とした施設見学等県産牛乳理解啓発活動の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農体験実施支援 615 主 な 事 業 内 容 ①「米の恵み」の消費拡大のための販促資材の作成、広告・宣伝活動に対する支援 3,272 ②美味しさの指標とされるオレイン酸含有率を測定する	見学受入回数 酪農体験イベント回数 活 動 指 イベント等開催回数	[回] [回] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四	標値 標値 標値 整成 整度 整度 整度 整度 整度 整度 整度 整度 整度 整度	16 100.0% 17 17 100.0% 2成30年度 令 10 13 130.0%	30 17 56.7% 18 16 88.9% 和元年度 10 12 120.0%	40 - - 18 - - - - 10 - - 110,000	イ イ イ リ イ り 今 を 行 成 扱 店 事 変 後 に 後 に は り を 後 に は り を を に り を に り を に し う を に し う を に し う に り を し た し う と の と り と り と う と う と う と う と う と う と う と う	ト等参 ************************************	加人数 【人 の人を中成開 根標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目実達成標消啓数 達目実達	3,000 3,575 119.2% ・ 今 ったが、学なの でが、学が成成を増加 人数の増加 平成30年度 120 121 100.8% ・ 何 要緊緊にいよった。	5,000 4,620 92.49 後 での搾乳体! に活用し、に活用し、に にろめる。 130 132 101.59 は拡大に飲けて 働きかいたがけて	6,000 - の 方 後や牧場受入 より充実した 140 - の ったが、 の の ったが、 下来の恵み」	針 体験に
15	4:	乳消費 が ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	大推進 ~ R3) 対す向する 80 年度 1,189 1,189 ・ 恵み」 ・ 水 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事業 者の理解職成業を表する者を表す。 令和元年度 1,566 1,514 業概争力強化 前上を図るためである。 令和元年度	畜産振興課 えと県産年等が などを支援 令和2年度 2,045 一 予算額 対策事業 畜産振興課 め、販売促 令和2年度	①小学生を対象とした施設見学等県産牛乳理解啓発活動の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農体験実施支援 615 主 な 事 業 内 容 10「米の恵み」の消費拡大のための販促資材の作成、広告・宣伝活動に対する支援 3,272 ②美味しさの指標とされるオレイン酸含有率を測定するための機器の維持管理	見学受入回数 酪農体験イベント回数 活 動 指 イベント等開催回数	[回] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四	標値 標値 標値 整度標値 整度標値 整度標値 整度標値 整度標値 整度標値 整度標値 整度標値 整度 整度標値 整度 整度 整度 形積度 整度 形積度 整度 形積度 整度 形積度 形積度 形積度 形面 形面 形面 形面 形面 形面 形面 形面 形面 形面	16 100.0% 17 17 100.0% 上 元成30年度 令 10 13 130.0% 100,000 1 95,358	30 17 56.7% 18 16 88.9% 和元年度 ⁴ 10 12 120.0% 00,000 99,629	40 - - 18 - - - - 10 - - 110,000	イ イ イ リ イ り 今 を 行 成 扱 店 事 変 後 に 後 に は り を 後 に は り を を に り を に り を に し う を に し う を に し う に り を し た し う と の と り と り と う と う と う と う と う と う と う と う	ト等参 ************************************	加人数 【人 の人を中成開 根標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目実達成標消啓数 達目実達	3,000 3,575 119.2% ・ 今 ったが、学校の 理解醸成が図教材) 取材) 平成30年度 120 121 100.8% ・ 今 果上回り、販店 ない農場にも	5,000 4,620 92.49 後 での搾乳体! に活用し、に活用し、に にろめる。 130 132 101.59 は拡大に飲けて 働きかいたがけて	6,000 - の 方 後や牧場受入 より充実した 140 - の ったが、 の の ったが、 下来の恵み」	針 体験に
15 No.	4: 面	乳消費 が (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (水) (к) (大推進 ~ R3) 計すすける おすらける 第 年 第 1,189 1,189 1,189 ・ 恵み) ・ 恵み) ・ 恵み) ・ で でいる ・ で でいる ・ で でいる ・ で でいる ・ でい	事業 者の理解職成 長体験 イベント 令和元年度 1,566 1,514 業 競争力強化 禁 持 か であるた	畜産振興課 さと県産年乳が こなどを支援 令和2年度 2,045 一 予算額 対策事業 無課で かいた。 が、一 のいいでは、 が、一 でいいでする。 でいいでは、 でいいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいなは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいいでは、 でいなは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、	①小学生を対象とした施設見学等県産牛乳理解啓発活動の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農体験実施支援 615 主 な 事 業 内 容 10「米の恵み」の消費拡大のための販促資材の作成、広告・宣伝活動に対する支援 3,272 ②美味しさの指標とされるオレイン酸含有率を測定するための機器の維持管理	見学受入回数 酪農体験イベント回数 活 動 指 イベント等開催回数	[回] [回] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四] [四	標値 標値 標値 整成 整度 整度 整度 整度 整度 整度 整度 整度 整度 整度	16 100.0% 17 17 100.0% 上 元成30年度 令 10 13 130.0% 100,000 1 95,358	30 17 56.7% 18 16 88.9% 和元年度 ⁴ 10 12 120.0% 00,000 99,629	40 - - 18 - - - - 10 - - 110,000	イ イ イ リ イ り 今 を 行 成 扱 店 事 変 後 に 後 に は り を 後 に は り を を に り を に り を に し う を に し う を に し う に り を し た し う と の と り と り と う と う と う と う と う と う と う と う	ト等参 ************************************	加人数 【人 の人を中成開 根標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目実達成標消啓数 達目実達	3,000 3,575 119.2% ・ 今 ったが、学なの でが、学が成成を増加 人数の増加 平成30年度 120 121 100.8% ・ 何 要緊緊にいよった。	5,000 4,620 92.49 後 での搾乳体! に活用し、に活用し、に にろめる。 130 132 101.59 は拡大に飲けて 働きかいたがけて	6,000 - の 方 後や牧場受入 より充実した 140 - の ったが、 の の ったが、 下来の恵み」	針 体験に

3.7	_	古 业 4	- #- · · · ·	k for m	→ kk hz	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	YT #1	The time	\+ -1\ ++	II. Nooke it	A *	A T		- 44 -	ar >+ .1\	E E Dooker		A T 0 F- 15	- State
No.		* //* //			予算額	主な事業内容	活動	指標	,,,,,,,		令和元年度		成			_	令和元年度		評価
	お	おいた冠	地どり流	通拡大対策	手業	①県内外への販路拡大や商談	商談回数		目標値	72	72	72	出荷羽数	X	目標信	直 141	164	150	
		(H29 ~	~ R4)		畜産振興課	展示会出展・フェアの開催 等による知名度向上に要す			実績値	96	74	_			実績化	直 129	134	_	C
					たとブランド	る経費の支援		[回]	達成率	133. 3%	102.8%	_	1	[=	羽] 達成	图 91.59	81.7%	_	
					おける新規販	2,662			目標値				事	業の			`後 0) 方	針
17	7 路	るの開拓やフ	ブランドカ	向上に取り約	且む。	,			実績値				冠地どり	714			野率の低下等		
11	'																4回の展示会出	展やフェア	への参
	-	4 17 / 1	ᅇᄹᄨ	ヘ た - と 皮	A 5- 0 F F				達成率							各拡大に寄与し 5 供給力強/	ルた。 化必要な施設	の整備改修	に対す
					令和2年度				目標値				る支援を行		17 C M 0 /C	>	11-21-2 - 5 //20	W IE M W IS	/(=)/(j /
		予算	3, 206	3, 170	3, 702				実績値										
	決	 學	2,773	2, 815	_				達成率										
	-	± 11/4 4	± 1	I/. Inst	- hele der			II.a. Int	Late to ale	→ 8	A =	A = 1l		T 112	and Sala IS a			A = 1	.1
No.					予算額	主な事業内容	活動	指標			令和元年度						令和元年度	令和2年度	
	配	A 農経営生	産性向」	L対策事業		①優良雌牛導入経費の貸付	事業推進会議	の開催回数	目標値	9	9	9			0 kg 目標作		34	36	
		(H29 ~	~ R4)		畜産技術室	28, 295 ②乳用牛飼料代の助成			実績値	10	11	_	以上の農	多 字数	実績化	直 36	34	_	Α
		国際化の進	生展に対応	可能な生産性	生の高い酪農	②乳用干晒料(の助成 11,500		[回]	達成率	111. 1%	122. 2%	=	İ	[累計:	戸] 達成	112.59	100.0%	_	
					の能力向上や	③省力化機器の整備や牛舎の	後継牛割合		目標値	34. 0	34.0	36. 0	事	業の	成果	/=	`後 0) 方	針
18	₹	模拡大の耳	双組を支援	する。		暑熱対策等施設整備への助			実績値	36. 2	35. 4	_		の能力向上や	?暑熱期の乳』	量低下対策に耳	なり組んだ結果	と、生産性の	高い農
10	1					成		Γο/ -	達成率	106. 5%	104. 1%						の向上に繋が		a mine s a
	H	- /\ \	00 F F	^	\	10,020		L 70.		106. 5%	104.1%]上を図るため]成を拡充し、		
	-				11 111 = 1 30				目標値				上げを目		P.11 45 IT 137034	HIK(-V) 7 SP	110 C 110 C C	水 I 四 円 10	重小区
			63, 799	57, 914	169, 677	6, 920			実績値										
	決	と 算	49, 145	44, 994	_				達成率										
				,					700										
N	-	市 ₩ ♭	事 4		マ 焙 姫	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	JT ∓L	Test 144			ヘモニを 声	人和口欠世	-4-	# # J	三 	# # Ann # #	人名---	∧ 1o /= th	- Sar har
No.				· 概 要 ·	予算額	主な事業内容	活動	指標	達成度	平成30年度	令和元年度					-	令和元年度		
No.				· 概 要 ·	会対策事業	①九州連合ホルスタイン共進	活動出品のための		達成度目標値	平成30年度	6	令和2年度 6	第7回九	州連合ホル	スタ目標化	直	16	令和2年度 5	
No.	第	第 15回全 日 (R1 ~	日本ホルス ~ R2)	だ。概 要 ・ スタイン共 進	会対策事業 畜産技術室	①九州連合ホルスタイン共進 会出品にかかる経費に対す		打合わせ会議	達成度 目標値 実績値	平成30年度			第7回九	州連合ホル 会の出品頭	スタ 数 目標 実績	直直			
No.	第	第15回全日 (R1 ~ 改良増殖に	日本ホルス ~ R2) に対する技	だ。概 要 ・ スタイン共進 術と意欲の向	会対策事業 畜産技術室 句上を通じて	①九州連合ホルスタイン共進 会出品にかかる経費に対す る助成		打合わせ会議	達成度目標値	平成30年度	6	6	第7回九 イン共進	州連合ホル 会の出品頭	スタ目標化	直直	16	5	
No.	第二个	15回全日 (R1 か 改良増殖に 改農経営の多	3本ホルス - R2) - 対する技 そ定化を図	だ 概 要 ・ スタイン共進 術と意欲の向 るため、令利	会対策事業 畜産技術室 向上を通じて 前2年10月	①九州連合ホルスタイン共進 会出品にかかる経費に対す		打合わせ会議	達成度 目標値 実績値 達成率	平成30年度	6	6	第7回九 イン共進	州連合ホル 会の出品頭	スタ 数 目標信 実績信 I頭] 達成者	直	16 17 106. 3%	5 — —	
No.	第略に	(R1 つ 改良増殖に 改良増殖に な農経営の第 に宮崎県で開	 本木ルプ - R2) - 対する技 で定化を図 開催される	業 概 要 ・スタイン共進術と意欲の向るため、令和第15回全日	会対策事業 畜産技術室 向上を通じて 可2年10月 日本ホルスタ	①九州連合ホルスタイン共進 会出品にかかる経費に対す る助成		打合わせ会議	達成度 目標値 実績値 達成率 目標値	平成30年度	6	6	第7回九 イン共進 (※) 事 第7回九	州連合ホル 会の出品頭 業の 州連合ホル	スタ 数 目標(実績(頭) 達成 ² 成 果 スタイン共進名	直 直 図 : ・ <i>- 生</i> にかかる経費	16 17 106.3% * 後 の を助成すること	5 - - つ 方 で出品頭数/	針は目標を
No.	第	第 15回全 (R1 つ 改良増殖に 改良増殖に 登農経営の写 で関いて で関いて で関いて で関いて で関いて で関いて で関いて で関いて	日本ホル 2 - R2) - 対する技 で定化を図 開催される O前哨戦と	業 概 要 ・スタイン共進術と意欲の向るため、令第15回全日して行われる	会対策事業 畜産技術室 向上を通じて 和2年10月 日本ホルスタ 5第7回九州	①九州連合ホルスタイン共進 会出品にかかる経費に対す る助成		打合わせ会議	達成度 目標値 実績値 実績値	平成30年度	6	6	第7回九 イン共進 (※) 事 第7回九 上回り、 野	州連合ホル 会の出品頭 業 の .州連合ホル (珠町の酪農	スタ 数 目標(実績(頭) 達成 ² 成 果 スタイン共進名	直 直 図 : ・ <i>- 生</i> にかかる経費	16 17 106.3%	5 - - つ 方 で出品頭数/	針は目標を
No.	第二酪にイ連	(R1 つ	日本ホル 2 R2) 二対する技 定定化を図 開催され では では では では では では では では では では	養 概 要 ・ スタイン共進 術と意欲の所 るため、令和 第15回全国 して行われる 会への出品対	会対策事業 畜産技術室 前上を通じて 前2年10月 日本ホルスタ 5第7回九州 対策を行う。	①九州連合ホルスタイン共進 会出品にかかる経費に対す る助成		打合わせ会議	達目集績成標值率值人	平成30年度	6	6	第7回九 イン共 (※) 事 77りができ 中 上ことか和2年	州連合ホル 会の出品頭 業 の 州連合ホル 珠町の酪農 た。 E度は第15	スタ 数 目標1 実績1 [頭] 達成 ⁵ 成 果 スタイン共進3 家がグランドラ 回全日本ホルン	直	16 17 106.3% 後 0 を助成すること 受賞したほか、 が開催される予	5 - - つ の 方 で出品頭数に 優秀な成績で 定であったた	番は は目標める が、新型
No.	第一酪にイ連区	第15回全日 (R1 で 改良増殖の 改良経営ので は で は で は さ は と は さ は さ り は さ り は さ り り り り り り り り り り	日本ホル 2 R2) 二対する技 定定化を図 開催され では では では では では では では では では では	模 概 要 ・ スタイン共進 術と意欲の時 るため、令 第15回全 して行われる 会への出品対 令和元年度	会対策事業 畜産技術室 向上を通じて の2年10月 の1年10月 の3第7回九スリ州 対策を行う。	①九州連合ホルスタイン共進 会出品にかかる経費に対す る助成		打合わせ会議	達目実達目実達成標績成標値率値値率値	平成30年度	6	6	第7回九 イン共 (※) 事 7回大 上 上 と か の で 2 ロ よ が 2 ロ よ ウ ロ ナ ウ に り に り り り り り り り り り り り り り り り り	州連合ホル 会の出品頭 業 の 州連合ホル 州連合ホル はた。 度は第15 ルス感染拡	スタ 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	直 を にいかる経費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16 17 106.3% 後 0 を助成すること 受賞したほか、 が開催される子となった。その	5 - つ 方 で出品頭数 優秀な成績 定であったが ため、事業	4 金計であるが はを収が、新は が自体が、体体が
No.	第 酪にイ連 区 子	第15回全日 (RI で 改良増殖に 路農経営の写 で言い共進スタ で表示ルルスタ でので でので でので でので でので でので でので でので でので での	日本ホル 2 R2) 二対する技 定定化を図 開催され では では では では では では では では では では	模 概 要 ・ スタイン共進 術と意欲の同るため、令 第15回全日 し会への田よな 令和元年度 1,626	会対策事業 畜産技術で 印2年10月 3第7回九九州 対策を行う。 令和2年度 5,544	①九州連合ホルスタイン共進 会出品にかかる経費に対す る助成		打合わせ会議	達目実達目実達目実績成標績成標績	平成30年度	6	6	第7回九進 (※) 事 7りが和ナ見と 中国を 中国を 中国を 中国を コープを コープを 第回と 第回と 第回と 第回と 第一回と 第一回と 第一回と 第一回と 第一回	州連合ホル頭 会の出品頭 業 合い 一次 では、第15 にた。 では、第15 では 第15 では 第15 では 第15 では 第15 では 第15 では 第15 で 第15 で 第15 を 第 を 第 を 第 を 第 を 第 を 第 を 第 を 第 を 第 を	スタ 数 目標 (実績 (運) 達成 5 成 果 スタイン共下ラーンドラー では、かられたいた。 大勢のの観点が	直	16 17 106.3% 後 0 を助成すること 受賞したほか、 が開催される予	5 一 で出品頭数/ 優秀な成績。 定であった* ため、事業 術指導等を行	本 は目収をが、 が自体が、 が自体が、 が自体が、 はないが、 とないが、 もっとが、 もっとが、 もるが、 もるが、 もるが、 もるが、 もっとが、 もるが、 もるが、 もるが、 もるが、 もるが、 もるが、 もるが、 もる
No.	第 酪にイ連 区 子	第15回全日 (R1 で 改良増殖の 改良経営ので は で は で は さ は と は さ は さ り は さ り は さ り り り り り り り り り り	日本ホル 2 R2) 二対する技 定定化を図 開催され では では では では では では では では では では	模 概 要 ・ スタイン共進 術と意欲の時 るため、令 第15回全 して行われる 会への出品対 令和元年度	会対策事業 畜産技術室 向上を通じて の2年10月 の1年10月 の3第7回九スリ州 対策を行う。	①九州連合ホルスタイン共進 会出品にかかる経費に対す る助成		打合わせ会議	達目実達目実達成標績成標値率値値率値	平成30年度	6	6	第7回九進 (※) 事 7りが和ナ見と 中国を 中国を 中国を 中国を コープを コープを 第回と 第回と 第回と 第回と 第一回と 第一回と 第一回と 第一回と 第一回	州連合ホル頭 会の出品頭 業 合い 一次 では、第15 にた。 では、第15 では 第15 では 第15 では 第15 では 第15 では 第15 では 第15 で 第15 で 第15 を 第 を 第 を 第 を 第 を 第 を 第 を 第 を 第 を 第 を	スタ 数 目標 (実績 (運) 達成 5 成 果 スタイン共下ラーンドラー では、かられたいた。 大勢のの観点が	直	16 17 106.3% 後 0 を助成すること 受賞したほか、 が開催されるそのとし、引き続きも	5 一 で出品頭数/ 優秀な成績。 定であった* ため、事業 術指導等を行	会計は は目収とが、 が自体が、 が自体が、 が自体が、 はないが、 とないが、 はないが、 とっと、 とをは、 とをもが、 とをもが、 とをもが、 とをもが、 とをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをも
No.	第一略にイ連区予決	第15回全 (R1 の 改良増殖に 改良経営ので を で を で を で を で を で を で を で を で を で を	日本ホル R2) 二対する技 ご対するを図る 現備的 オイン 30年度	養 概 要 ・ スタイン共進 術と意欲の時るため、令和第15回全時して行われる会への出品対令和元年度 1,626 1,347	会対策事業 畜産技術室 前上を通じて 10月日本ホルスタ 5第7回九州 対策を行う。 令和2年度 5,544	①九州連合ホルスタイン共進 会出品にかかる経費に対す る助成 1,626	出品のための	打合わせ会議	達目実達目実達日実達成標績成標績成標績成標績成標績成		6 6 100.0%	6	第7回九 イン共 (※) 事7のりで 第回りが 2と令和ナウ 2の 3の 4の 4の 4の 4の 4の 4の 4の 4の 4の 4の 4の 4の 4の	州連合ホル 会の出品頭 業 の 州連合ホル 珠町の酪農 ・た度は第15 ルス感県下路 ルス原下路 2年度:第1	スタ 目標 (実績(実績(運成 ³ スタイン共進会 家がグランドラ 回全日本ホルン 大防止の観点だ 豊家の改良意称 5 回全日本ホ	直直 を ににかかる経費 ・ヤンビオンを ・タイン共進会 ら大会がの向上を目指 ルスタイン共進	16 17 106.3% 後 0 0 を助成すること 受賞したほか、 が開催されるその となった。その し、引き続き技 会の出品頭数	5 一 つ で出品頭数1 優秀な成績で 優秀なのまたた たでめったた たため、事を 作指導等を 領頭]	計 はな収 がはな収 がはなり がはなり がはなり から
No. 19	第 酪にイ連 区 予 決	第15回全 (R1 の 改良増加の は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	日本ホル ~ R2) 二対するを定定化れるとのであると進す。 30 年度 ・事業	養 概 要・ スタイン共進 術と意欲の何るため、句を 第15行われる 分和元年度 1,626 1,347 養 概 要・	会対策事業 畜産技術で 印2年10月 3第7回九九州 対策を行う。 令和2年度 5,544	①九州連合ホルスタイン共進会出品にかかる経費に対する助成 1,626 主な事業内容	出品のための語	打合わせ会議 [回] 指 標	達目実達目実達目実達成標績成標績成標績成標績成標績成成標績成成長	平成30年度	6 6 100.0%	6 - - - 令和2年度	第7回九 イン イン (※) 事 第回と 第回と 第回と の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	州連合ホル 会の出品頭 業 のル 小珠町の酪 農で、 ・た。 ・た。 を度は第15 になります。 では、第15 になります。 では、第15 にないが、 では、第15 にないが、 では、第15 にないが、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	スタ 製 に頭」 達成。 成 果 スタイン共進後。 マンスタインサットの 日本本の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	直 直 を ににかかる経費 マンピオンを・ タイン共進会ら大会が中止指 の向上を目指進 マア成30年度	16 17 106.3% 後の を助成すること 受賞したほか、 が開催されるその となっ引き続き となっ引き続動数 令和元年度	5 方で出品頭数に優秀な成績を定であったため、事業を作りませた。	会計 はを収 が体わる
No. 19	第 酪にイ連 区 予 決	第15回全 (R1 の (R1 の () 限1 を () 限2 を () で1 を () で1 を () で2 を () で3 で4	3本ホルン R2) 一 R2) 一 R2) 一 R2) で対するを記していたれ戦力 30年度 30年度 事 事 第	養 概 要・ スタイン共進 術と意欲の何るため、句を 第15行われる 分和元年度 1,626 1,347 養 概 要・	会対策事業	①九州連合ホルスタイン共進会出品にかかる経費に対する助成1,626主な事業内容①草地造成や施設整備に対す	出品のための	打合わせ会議 [回] 指 標	達目実達目実達 目実達 達目	平成30年度	6 6 100.0% 令和元年度 12	6	第7回九 イン イン (※) 事 第回と 第回と 第回と の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	州連合ホル 会の出品頭 業 の 州連合ホル 珠町の酪農 ・た度は第15 ルス感県下路 ルス原下路 2年度:第1	スタ	直 直 直 を ににかかる経費 ・ヤンピオンを・ ・タイン共進会ら大会が中止 のの向上を目指 ルルスタイン共進 を で で で で の の の の の の の り し し し し し し し し し し し し	16 17 106.3% 後の を助成すること 受賞したほか、 が開催される子の となった。続き数 により、引き続き数 の出品頭数 の出品頭数 のようのは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	5 一 一 つ 方 で出品頭数に 優秀な成績で 定であったが ため、事業E ため、事業E 令和2年度 67	会計標をを収 が自体をの が自行う。
No.	第一略にイ連区予決・草	第15回全 (R1	3 本ホルン R2) 大学 では、 ・ 本 な は、 ・ 本 な は、 ・ な な は、 ・ な な は、 ・ な な は、 ・ な な な な な な な な な な な な な な な な な な な	業 概 要・ スタイン共進 術と意欲の行るため、回名に 第15日われる 第15日われる 会和元年度 1,626 1,347 業 概 要・	会対策事業 畜産技術で 南上を年10月月 日本ホル回九州 対策を行う。 令和2年度 5,544 一 予 額 畜産技術室	 ①九州連合ホルスタイン共進会出品にかかる経費に対する助成 主な事業内容 ①草地造成や施設整備に対する助成 	出品のための語	打合わせ会議 [回] 指 標 数	達目実達目実達 実達 達目実 達目実達 度値値率値値率値値率 度値値	平成30年度	6 6 100.0%	6 - - - 令和2年度	第7回九 イン イン (※) 事 第回と 第回と 第回と の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	州連合ホル 会の出品頭 業 の 州連合ホー が、第151 に度はス感県下第1 2年度:第1 報 整備面	スタ 関	直 直 直 直 を ににかかる経費 ・ヤンピオンを・ タイン共進会ら大会が中止 りの向上を目前 レルスタイン共進 平成30年度 直 20 直 21	16 17 106.3% 後の を助成すること 受賞したほか、 が開催されるその となっ引き続き となっ引き続動数 令和元年度	5 方で出品頭数に優秀な成績を定であったため、事業を作りませた。	会計 はを収 が体わる
No.	第 略にイ連 区 子 決	第15回全 (R1 の (良経崎共本の (良経崎共本の (日本の (日本) (日	3 本ホルン R2 R2) 対定化され 対定化され (日本) (日本) <	模 概 要 ・ スタイン共進 術と意欲の時る第1560の一般である。 第1570の一般である。 第1570の一般である。 第1,626	会対策事業 一会対策事業 一部を担け、10月 日本が第7日の10月 日本が第7日である。 一学をできる。 一学をできる。 一学をできる。 一学のできる。 一をでをできる。 一をでをできる。 一をでをできる。 一をでをでをできる。	①九州連合ホルスタイン共進会出品にかかる経費に対する助成1,626主な事業内容①草地造成や施設整備に対す	出品のための語	打合わせ会議 [回] 指 標 数	達目実達目実達 目実達 達目	平成30年度	6 6 100.0% 令和元年度 12 13	6 - - - 令和2年度	第7回九 イン イン (※) 事 第回と 第回と 第回と の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	州連合ホル 会の出品頭 業 の 州連合ホー が、第151 に度はス感県下第1 2年度:第1 報 整備面	スタ	直 直 直 直 を ににかかる経費 ・ヤンピオンを・ タイン共進会ら大会が中止 りの向上を目前 レルスタイン共進 平成30年度 直 20 直 21	16 17 106.3% 後の を助成すること 受賞したほか、 が開催される予の となった。 そきき となった。 そきも となっと 日き高い 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の	5 一 一 つ 方 で出品頭数に 優秀な成績で 定であったが ため、事業E ため、事業E 令和2年度 67	会計標をを収 が自体をの が自行う。
No. 19	第 略にイ連 区 子 決	第15回全 (R1	3 本ホル R2	集 概 要 ・ スタイン共進 術と意かのでは (では、) 回れに (では、) 回れに (では、) の元 1,626 (では、) 1,347 (では、) では、 (では、) では、) では、 (では、) では、 (では、) では、 (では、) では、 (では、) では、) では、) では、 (では、) では、) では、 (では、) では、) では、 (では、) では、) では、 (では、) では、) では、) では、 (では、) では、) では、) では、) では、 (では、) では、) では、) では、) では、 (では、) では、) では、) では、) では、) では、 (では、) では、) では、) では、) では、) では、) では、) では、)	会対策事業 会対策事業 音を持術で 力をを 力をを 力をで 力をで 力をで 力をで 一 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで の の の の の の の の の の の の の	 ①九州連合ホルスタイン共進会出品にかかる経費に対する助成 主な事業内容 ①草地造成や施設整備に対する助成 	出品のための語	打合わせ会議 [回] 指 標 数	達目実達目実達 実達 達目実 達目実達 度値値率値値率値値率 度値値	平成30年度 12 12	6 6 100.0% 令和元年度 12 13	6 - - - 令和2年度 12 -	第7回九 イン イン (※) 事 第回と 第回と 第回と の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	州連合ホル 会の出品頭 業 の 州連合ホー が、第151 に度はス感県下第1 2年度:第1 報 整備面	スタ 関頭	直 直 整 を たヤンピオンを から から向上をが中 は かの向上をが中 がの向上を で で で で で で で で で で で で で が り で り で り で	16 17 106.3% 後の を助成すること 受賞したほか、 が開催される子のと、よの引き続き技会の出品頭数 令和元年度 29 30 103.4%	5 一 一 一 つ 方 で出品頭数は を を を を を た た た た た た た あ、事業 能 術 指 導 等 を 行 の の の の も る る る る の も る る る る る る る る る る る る る	会計標をを収 が自体をの が自行う。
No.	第	第15回全 で R1 で 良経崎共ホ で 事 で 事 で 第 129 で	3 本ホルン R2	業 概 要 ・ スタイン共進 術る第15行の元 年 1,626 1,347 素 業 「	会対策事業 一会対策事業 一部を担け、10月 日本が第7日の10月 日本が第7日である。 一学をから、一学をできる。 一学をできる。 一学のできる。 一をでをできる。 一をでをでをできる。 一をでをできる。 一をで	 ①九州連合ホルスタイン共進会出品にかかる経費に対する助成 主な事業内容 ①草地造成や施設整備に対する助成 	出品のための語	打合わせ会議 [回] 指 標 数	達目実達目実達目実達 達目実達日度値値率値値率値値率 度値値率値	平成30年度 12 12	6 6 100.0% 令和元年度 12 13	6 - - - 令和2年度 12 -	第7回九進 第7日大進 第7日大進 第回りが和ナウ送和 第回りが和ナウ送和 東上こ令コでを)の成 地造 事 西西	州連合ホル頭 業 合本 の出	スタ 関頭	直 直 直 直 を たヤンピオンを からイン共進会会 から向上をが申目指 かいの向上を で で で で で で で で で で で で で で で で の で の	16 17 106.3% 後の を助成すること 質したほか、 が開催される子のとし、引き続き技 の出品頭数 令和元年度 29 30 103.4%	5 一 一 つ 方 で 世 品 頭 数 が 優 秀 な 成 裁 後 定 で あ っ た だ た め 、 事業 を が 新 指 導等 を が の 令 和 2 年 度 67 ー ー	針 計標を名 はまり 新株 がら体う。 新 (本) 新 (本) 新 (本) 新
No.	第	第15回全 (R1	3 本ホルン R2	業 概 要 ・ スタイン共進 術る第15行の元 年 1,626 1,347 素 業 「	会対策事業 会対策事業 音を持術で 力をを 力をを 力をで 力をで 力をで 力をで 一 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで 一 第でで の の の の の の の の の の の の の	 ①九州連合ホルスタイン共進会出品にかかる経費に対する助成 主な事業内容 ①草地造成や施設整備に対する助成 	出品のための語	打合わせ会議 [回] 指 標 数	達目実達目実達 達目実達 目実達 度値値率値値率値値率 度値値率値値率	平成30年度 12 12	6 6 100.0% 令和元年度 12 13	6 - - - 令和2年度 12 -	第7日本 イ(※) 事 回、で2年7名 第回と令ロを約 成地 事 四種 事 四種	州連合ホル頭 一般の出品頭 一般の出品頭 一般では、 一般でいる。 一般で。 一般で、 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。	スタ 関	直 直 直 直 直 医 にいかる経費・ タイン共進会した会の向上を申指 は、アンピオンを のの向上を申指 は、アンピオンを のの向上を見る。 での向上を でののかと でののかと でのから、 でのから でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら	16 17 106.3% 後の を助成すること と質したほか、 いとされるそのも という引き品頭数 令和元年度 29 30 103.4% 後のと とで、目標と	5 一 一 つ 方 で出品頭数は 優秀な成っただ をため、事等を名 たため、事等を名 の つ 一 一 の の の の の の の の の の の の の	おはました。 おります はない が自行う。 評価 A 針 が自行う から から 型執 から
No.	第 略にイ連 図 予 決	第15回全 (R1	3 本ホル R2 R2 対定化され なるとれ (30 本) ・整備 (30 本) (4 本) (5 本) (5 本) (6 本) (7 本) (8 本) (8 本) (9 本) (1 本) (1 本) (2 本) (2 本) (3 本) (4 本) (5 本) (5 本) (6 本) (7 本) (7 本) (8 本) (8 本) (8 本) (9 本) (1 本) (1 本) (2 本) (2 本) (3 本) (4 本) (5 本) (6 本) (7 本) (7 本) (8 本) </th <th>集 概 要 ・ スタイン共進 術る第15行の 元 1 5行の 元 1 626 1 347 世</th> <th>会対策事業室 対策技術で月夕 を</th> <th> ①九州連合ホルスタイン共進会出品にかかる経費に対する助成 主な事業内容 ①草地造成や施設整備に対する助成 </th> <th>出品のための語</th> <th>打合わせ会議 [回] 指 標 数</th> <th>達目実達目実達目実達 達目実達目実達成標績成標績成標績成 成標績成標績成 成標績成標績成</th> <th>平成30年度 12 12</th> <th>6 6 100.0% 令和元年度 12 13</th> <th>6 - - - 令和2年度 12 -</th> <th>第7日本 イ(※) 事 回、で2年7名 第回と令ロを約 成地 事 四種 事 四種</th> <th>州連合ホル頭 のルル農 ・ 大連の 第 1 5 km を 度はスメ、 定 でした新た でした 新かま を 整 備 の の す。 た 手 度 皮 と 下 を ま で と 大 変 と で と 大 新 な と 下 を よ で と 大 新 な で と 大 新 な と 下 と 変 と 下 と で と 大 新 な こ と 下 と で と 大 新 な こ か こ 。 か こ か た ・ を か ま か と 下 と で と か か こ 。 か こ か こ</th> <th>スタ 関</th> <th>直 直 直 直 直 医 にいかる経費・ タイン共進会した会の向上を申指 は、アンピオンを のの向上を申指 は、アンピオンを のの向上を見る。 での向上を でののかと でののかと でのから、 でのから でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら</th> <th>16 17 106.3% 後の を設賞したほか、 が開催される子のととなりき続きまきとし、の出品頭数 令和元年度 29 30 103.4%</th> <th>5 一 一 つ 方 で出品頭数は 優秀な成っただ をため、事等を名 たため、事等を名 の つ 一 一 の の の の の の の の の の の の の</th> <th>A 針 はな が はな が が が はな が が が か が か か か か か か か か か か か か か</th>	集 概 要 ・ スタイン共進 術る第15行の 元 1 5行の 元 1 626 1 347 世	会対策事業室 対策技術で月夕 を	 ①九州連合ホルスタイン共進会出品にかかる経費に対する助成 主な事業内容 ①草地造成や施設整備に対する助成 	出品のための語	打合わせ会議 [回] 指 標 数	達目実達目実達目実達 達目実達目実達成標績成標績成標績成 成標績成標績成 成標績成標績成	平成30年度 12 12	6 6 100.0% 令和元年度 12 13	6 - - - 令和2年度 12 -	第7日本 イ(※) 事 回、で2年7名 第回と令ロを約 成地 事 四種 事 四種	州連合ホル頭 のルル 農 ・ 大連の 第 1 5 km を 度はスメ、 定 でした新た でした 新かま を 整 備 の の す。 た 手 度 皮 と 下 を ま で と 大 変 と で と 大 新 な と 下 を よ で と 大 新 な で と 大 新 な と 下 と 変 と 下 と で と 大 新 な こ と 下 と で と 大 新 な こ か こ 。 か こ か た ・ を か ま か と 下 と で と か か こ 。 か こ か こ	スタ 関	直 直 直 直 直 医 にいかる経費・ タイン共進会した会の向上を申指 は、アンピオンを のの向上を申指 は、アンピオンを のの向上を見る。 での向上を でののかと でののかと でのから、 でのから でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら でのいら	16 17 106.3% 後の を設賞したほか、 が開催される子のととなりき続きまきとし、の出品頭数 令和元年度 29 30 103.4%	5 一 一 つ 方 で出品頭数は 優秀な成っただ をため、事等を名 たため、事等を名 の つ 一 一 の の の の の の の の の の の の の	A 針 はな が はな が が が はな が が が か が か か か か か か か か か か か か か
No.	第 略にイ連 区 子 決 草 化を飼 区	15回全 15回全 16回全 17回全 17回全 17回2 17回2 17回2 18回2 19回2 1902 1902	本ホル R2 R2 するをれ戦力定化さ哨ン年 30 本盤 ・整備 家の手により などのより 本番をは対数 などのより 本番をは対数 などのより などのより などのより <td< th=""><th>集 概 要 ・ スタイン共進 術 表</th><th>会対策事業室 対策技術で月月を 対策を通りのスルカラのでは、 対策を通りのスルカラのでは、 で和日本第7を行うできた。 で和日本第7を行うできた。 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででの一ででの一ででの一ででの一ででの一ででのでの一ででの一ででの一でで</th><th> ①九州連合ホルスタイン共進会出品にかかる経費に対する助成 主な事業内容 ①草地造成や施設整備に対する助成 </th><th>出品のための語</th><th>打合わせ会議 [回] 指 標 数</th><th>達目実達目実達目実達 達目実達日実達日度値値率値値率値値率 度値値率値値率値</th><th>平成30年度 12 12</th><th>6 6 100.0% 令和元年度 12 13</th><th>6 - - - 令和2年度 12 -</th><th>第7回九進 第7回九進 事 回、で2年イス 第回とが和立り送る和 中 回、で2年イス 第回とが和立り送る和 事 画種の名 事 画種の名 事 画種の名 事 画種の名</th><th>州連合ホル頭 のルル農 ・ 大連の 第 1 5 km を 度はスメ、 定 でした新た でした 新かま を 整 備 の の す。 た 手 度 皮 と 下 を ま で と 大 変 と で と 大 新 な と 下 を よ で と 大 新 な で と 大 新 な と 下 と 変 と 下 と で と 大 新 な こ と 下 と で と 大 新 な こ か こ 。 か こ か た ・ を か ま か と 下 と で と か か こ 。 か こ か こ</th><th>スタ 関</th><th>直 直 直 直 直 医 にいかる経費・ タイン共進会した会の向上を申指 は、アンピオンを のの向上を申指 は、アンピオンを のの向上を見る。 での向上を でのの上を でののかと でのから、 でのから でのいらのも でのから でのいり でのいり でのいり でのいり でのいり</th><th>16 17 106.3% 後の を助成すること と質したほか、 いとされるそのも という引き品頭数 令和元年度 29 30 103.4% 後のと とで、目標と</th><th>5 一 一 つ 方 で出品頭数は 優秀な成っただ をため、事等を名 たため、事等を名 の つ 一 一 の の の の の の の の の の の の の</th><th>A 針 はな が はな が が が はな が が が か が か か か か か か か か か か か か か</th></td<>	集 概 要 ・ スタイン共進 術 表	会対策事業室 対策技術で月月を 対策を通りのスルカラのでは、 対策を通りのスルカラのでは、 で和日本第7を行うできた。 で和日本第7を行うできた。 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででは、 での一方ででの一ででの一ででの一ででの一ででの一ででのでの一ででの一ででの一でで	 ①九州連合ホルスタイン共進会出品にかかる経費に対する助成 主な事業内容 ①草地造成や施設整備に対する助成 	出品のための語	打合わせ会議 [回] 指 標 数	達目実達目実達目実達 達目実達日実達日度値値率値値率値値率 度値値率値値率値	平成30年度 12 12	6 6 100.0% 令和元年度 12 13	6 - - - 令和2年度 12 -	第7回九進 第7回九進 事 回、で2年イス 第回とが和立り送る和 中 回、で2年イス 第回とが和立り送る和 事 画種の名 事 画種の名 事 画種の名 事 画種の名	州連合ホル頭 のルル 農 ・ 大連の 第 1 5 km を 度はスメ、 定 でした新た でした 新かま を 整 備 の の す。 た 手 度 皮 と 下 を ま で と 大 変 と で と 大 新 な と 下 を よ で と 大 新 な で と 大 新 な と 下 と 変 と 下 と で と 大 新 な こ と 下 と で と 大 新 な こ か こ 。 か こ か た ・ を か ま か と 下 と で と か か こ 。 か こ か こ	スタ 関	直 直 直 直 直 医 にいかる経費・ タイン共進会した会の向上を申指 は、アンピオンを のの向上を申指 は、アンピオンを のの向上を見る。 での向上を でのの上を でののかと でのから、 でのから でのいらのも でのから でのいり でのいり でのいり でのいり でのいり	16 17 106.3% 後の を助成すること と質したほか、 いとされるそのも という引き品頭数 令和元年度 29 30 103.4% 後のと とで、目標と	5 一 一 つ 方 で出品頭数は 優秀な成っただ をため、事等を名 たため、事等を名 の つ 一 一 の の の の の の の の の の の の の	A 針 はな が はな が が が はな が が が か が か か か か か か か か か か か か か
No.	第	第15回全年 改集を 改集を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	本ホルン ~ R2 ~ R2 するをれ戦共度 ずんでは、 事備 家、し備 などの ・整路 家、し備 などの <	集 概 要 ・ スタイン共進 術る第15行の 元 1 5行の 元 1 626 1 347 世	会対策事業室 対策技術で月夕 を	 ①九州連合ホルスタイン共進会出品にかかる経費に対する助成 主な事業内容 ①草地造成や施設整備に対する助成 	出品のための語	打合わせ会議 [回] 指 標 数	達目実達目実達目実達 達目実達目実達成標績成標績成標績成 成標績成標績成 成標績成標績成	平成30年度 12 12	6 6 100.0% 令和元年度 12 13	6 - - - 令和2年度 12 -	第7回九進 第7回九進 事 回、で2年イス 第回とが和立り送る和 中 回、で2年イス 第回とが和立り送る和 事 画種の名 事 画種の名 事 画種の名 事 画種の名	州連合ホル頭 のルル 農 ・ 大連の 第 1 5 km を 度はスメ、 定 でした新た でした 新かま を 整 備 の の す。 た 手 度 皮 と 下 を ま で と 大 変 と で と 大 新 な と 下 を よ で と 大 新 な で と 大 新 な と 下 と 変 と 下 と で と 大 新 な こ と 下 と で と 大 新 な こ か こ 。 か こ か た ・ を か ま か と 下 と で と か か こ 。 か こ か こ	スタ 関	直 直 直 直 直 医 にいかる経費・ タイン共進会した会の向上を申指 は、アンピオンを のの向上を申指 は、アンピオンを のの向上を見る。 での向上を でのの上を でののかと でのから、 でのから でのいらのも でのから でのいり でのいり でのいり でのいり でのいり	16 17 106.3% 後の を助成すること と質したほか、 いとされるそのも という引き品頭数 令和元年度 29 30 103.4% 後のと とで、目標と	5 一 一 つ 方 で出品頭数は 優秀な成っただ をため、事等を名 たため、事等を名 の つ 一 一 の の の の の の の の の の の の の	A 針 標をるる はなむ 以体ける 評価 A 計版 A 計成・

N.T.	事业为 事业期 更 マ 笠 紫	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	77 FL 46 49	· 生土-	# # A00 F #	- ヘモーケ ケー	A Two Fr It	A4 HH 44.		: # Dook # 4	A 40 - 40 - 40 - 40 - 40 - 40 - 40 - 40	
No.	事業名・事業概要・予算額	, ,, ,,	活動指標 現地協議		度 平成30年度		1 11 1 24	77. 11. 11				令和2年度 評価
	養豚競争力強化対策事業	①肥育豚舎等施設整備への補 動	児児励 職	目標信		3	3	┃「米の恵み」ブラ ┃ド豚出荷頭数	H W IE			113, 250
	(R1 ~ R2) 畜産技術	至 259 500		実績値	_	5		1 105 111 111 142 34	実績値		102, 779	
	中心的な経営体が行う家畜飼養管理施設等の			[回] 達成		166. 7%	_		[頭] 達成率	3	-	_
	整備を支援することで、県産豚肉の統一銘柄である「米の恵み」ブランド豚の生産拡大を図			目標信	直			事業の	成果	· 今	後の	方 針
21	り、TPP等の関税引き下げによる輸入豚肉の			実績値	直			令和2年度に全額を	繰り越す国の	令和元年度補正	予算を受入れ	て、「米の恵み」
	増加に対応する経営を確立する。			達成平				ブランド豚の出荷頭疹 定していない。	※増加を図る事	来のため、分和	元牛皮におり	ハて、目標値は設
	区分 平成30年度 令和元年度 令和2年	Ė		目標信	-			今後は、生産者等(iに沿って施詞	設整備を支援し、
	予算 258,500 258,50			実績信				「米の恵み」ブラン	ド豚の出荷頭数		羽午市編封類	〔258,500千円〕
	決算 0	,		幸成				-		(3	立十/文/林/四识	200,000 [[])
Ь	(人) 异			達成 =	半							
No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	活動指標	達成月	度 平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指:	標 達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 評価
	林業再生県産材利用促進事業	①木材加工流通施設の整備に	乾燥機導入数	目標信		2	2	乾燥材生産量	目標値		4	6
	(H21 ~ R3) 林産振興	西小スタ弗に対小ス士極		実績値		2			実績値		4	A
	県産材の需要拡大と製品加工等の低コスト化			[基] 達成率		100.0%		r <u>-</u>	Fm³] 達成率		100.0%	
	等を図るため、木材の加工流通施設や木質バイ	②木質バイオマス利用施設等 の整備に要する経費に対す				100.0%		事業の	-			
00	オマス施設等の整備を支援する。	る支援		目標信				** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	// //		後の	, , , , ,
22		12, 750		実績信				と目標を達成し、高	品質な製材品の	生産拡大と県産	材の需要拡大	大を図ることがで
				達成				きた。	エセールが 小事 (出	:+ +松	3 1- A To 6	0 年
	区分 平成30年度 令和元年度 令和2年	<u> </u>		目標信	直			引き続き、加工流i 材を確保し生産量のt				
	予算 207, 387 572, 408 581, 05	5		実績値	直			要する経費に対する				
	決算 113,904 255,866 -			達成平	率					(3	翌年度繰越額	〔 316,542千円)
			\	er lada ta -	4		A = 1	b m 114				A
No.	事業名・事業概要・予算額		活動指標	f -1)	度 平成30年度							令和2年度 評価
No.	しいたけ増産体制整備総合対策事業	①生産施設、機械等の導入に	生産施設等整備事業実施	施分 目標信	直 3,854	3, 854	令和2年度 3,854	成 果 指 中核的生産者数	目標値	1 220	219	219
No.	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~) 林産振興	①生産施設、機械等の導入に 対する補助 38 557		施分 目標 ff 実績 ff	直 3,854 直 5,006			中核的生産者数	目標値実績値	1 220 1 222		
No.	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~) 林産振興 しいたけの生産性向上と増産を図るため、生	①生産施設、機械等の導入に 対する補助 38 557	生産施設等整備事業実施原木伏込量	施分 目標信 実績信 [㎡] 達成 ²	直 3,854 直 5,006	3, 854 4, 888	3, 854	中核的生産者数	目標値	1 220 1 222	219	219
No.	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~) 林産振興 しいたけの生産性向上と増産を図るため、生産基盤の整備に取り組む生産者への支援に加	室①生産施設、機械等の導入に対する補助38,557②林内作業路の整備に対する補助	生産施設等整備事業実施 原木伏込量	施分 目標信 実績信 [㎡] 達成 ²	直 3,854 直 5,006 率 129.9%	3, 854 4, 888	3, 854 —	中核的生産者数	目標値 実績値 達成率	220 £ 222 100.9%	219 221	219 - - -
No.	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~) 林産振興 しいたけの生産性向上と増産を図るため、生産基盤の整備に取り組む生産者への支援に加え、担い手の高齢化に対応した生産体制を構築	室①生産施設、機械等の導入に対する補助38,557②林内作業路の整備に対する補助8,500	生産施設等整備事業実施原木伏込量	施分 目標信 実績信 [㎡] 達成 ²	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950	3, 854 4, 888 126. 8%	3, 854	中核的生産者数 事 業 の 低コスト簡易作業i	目標値 実績値 [人] 達成率 成 果 &の開設やユニ	1 220 222 1 100.9% ・ 今	219 221 100. 9% 後の ホウ等の導力	219 - カ ナ 大、散水施設や林
No. 23	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~) 林産振興 しいたけの生産性向上と増産を図るため、生産基盤の整備に取り組む生産者への支援に加	室 ①生産施設、機械等の導入に 対する補助 38,557 ②林内作業路の整備に対する 補助 8,500 ③原木供給作業の協業化に取	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の限	施分 目標信 実績信[㎡] 達成開設 目標信	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017	3, 854 4, 888 126. 8% 21, 250 20, 129	3, 854 - - 26, 200	中核的生産者数 事 業 の 低コスト簡易作業 内作業車の導入を支持	目標値 実績値 (人) 達成率 成果 8の開設やユニ原 8の開設やユニ原	1 220 222 3 100.9% ・ 今 ・ 今 ・ 小夕車・バック 「木伏せ込み量の	219 221 100. 9% 後の ホウ等の導力 日標を達成で	219 - 方針 入、散水施設や林 するとともに、中
No. 23	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~) 林産振興 しいたけの生産性向上と増産を図るため、生産基盤の整備に取り組む生産者への支援に加え、担い手の高齢化に対応した生産体制を構築するため、原木供給作業等の協業化に取り組む生産者を支援する。	①生産施設、機械等の導入に 対する補助 38,557 ②林内作業路の整備に対する 補助 8,500 ③原木供給作業の協業化に取 り組む生産者を対象とした	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の限	施分 目標値 実績値「㎡」達成型開設 目標値 実績値[m]達成型	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4%	3, 854 4, 888 126. 8% 21, 250 20, 129	3, 854 - - 26, 200 -	中核的生産者数 事 業 の 低コスト簡易作業i 内作業車の導入を支持 核的生産者数も目標 引き続き生産規模i	目標値 実績値 実成率 成果 8の開設や果、見し をとしたし向けた取 なたに向けた取	I 220 222 222 100.9% 今、ック車・バッ虫のいたけ生産産規を支援すると組を支援すると	219 221 100. 9% 後 の ホウ等を導成で を拡大するで ともに、輸品	219 A - 方 針 入、散水施設や林 するとともに、中 ことができた。
No. 23	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14~) 林産振興 しいたけの生産性向上と増産を図るため、生産基盤の整備に取り組む生産者への支援に加え、担い手の高齢化に対応した生産体制を構築するため、原木供給作業等の協業化に取り組む生産者を支援する。	①生産施設、機械等の導入に 対する補助 38,557 ②林内作業路の整備に対する 補助 8,500 ③原木供給作業の協業化に取 り組む生産者を対象とした 重機の操作研修会の開催	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の限	 施分 目標値 実績値 「端」達成型 開設 目標値 実績値 [m] 達成型 目標値 	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4%	3, 854 4, 888 126. 8% 21, 250 20, 129	3, 854 - - 26, 200 -	中核的生産者数 事業の 低コスト簡易作業 内作業車の導入を支持 核的生産者数も目標	目標値 実績値 実成率 成果 8の開設や果、見し をとしたし向けた取 なたに向けた取	I 220 222 222 100.9% 今、ック車・バッ虫のいたけ生産産規を支援すると組を支援すると	219 221 100. 9% 後の ホウ等の導力 目標を達成で を拡大すること 。。。。	219 - 方 針 入、散水施設や林 するとともに、中 ことができた。 出拡大に向けた施
No. 23	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~) 林産振興 しいたけの生産性向上と増産を図るため、生産基盤の整備に取り組む生産者への支援に加え、担い手の高齢化に対応した生産体制を構築するため、原木供給作業等の協業化に取り組む生産者を支援する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年 予算 92,006 47,684 65,04	①生産施設、機械等の導入に 対する補助 38,557 ②林内作業路の整備に対する 補助 8,500 ③原木供給作業の協業化に取 り組む生産者を対象とした 重機の操作研修会の開催	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の限	 施分 目標係 実績係 [㎡] 達成 3 達成 3 達成 3 目標係 [面] 達成 3 目標係 実績係 実績係 	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4% 直	3, 854 4, 888 126. 8% 21, 250 20, 129	3, 854 - - 26, 200 -	中核的生産者数 事 業 の 低コスト簡易作業i 内作業車の導入を支持 核的生産者数も目標 引き続き生産規模i	目標値 実績値 実成率 成果 8の開設や果、見し をとしたし向けた取 なたに向けた取	I 220 222 222 100.9% 今、ック車・バッ虫のいたけ生産産規を支援すると組を支援すると	219 221 100. 9% 後の ホウ等の導力 目標を達成で を拡大すること 。。。。	219 A - 方 針 入、散水施設や林 するとともに、中 ことができた。
No. 23	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14~) 林産振興 しいたけの生産性向上と増産を図るため、生産基盤の整備に取り組む生産者への支援に加え、担い手の高齢化に対応した生産体制を構築するため、原木供給作業等の協業化に取り組む生産者を支援する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年 予算 92,006 47,684 65,04	①生産施設、機械等の導入に 対する補助 38,557 ②林内作業路の整備に対する 補助 8,500 ③原木供給作業の協業化に取 り組む生産者を対象とした 重機の操作研修会の開催	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の限	 施分 目標値 実績値 「端」達成型 開設 目標値 実績値 [m] 達成型 目標値 	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4% 直	3, 854 4, 888 126. 8% 21, 250 20, 129	3, 854 - - 26, 200 -	中核的生産者数 事 業 の 低コスト簡易作業i 内作業車の導入を支持 核的生産者数も目標 引き続き生産規模i	目標値 実績値 実成率 成果 8の開設や果、見し をとしたし向けた取 なたに向けた取	I 220 222 222 100.9% 今、ック車・バッ虫のいたけ生産産規を支援すると組を支援すると	219 221 100. 9% 後の ホウ等の導力 目標を達成で を拡大すること 。。。。	219 - 方 針 入、散水施設や林 するとともに、中 ことができた。 出拡大に向けた施
No. 23	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~) 林産振興 しいたけの生産性向上と増産を図るため、生産基盤の整備に取り組む生産者への支援に加え、担い手の高齢化に対応した生産体制を構築するため、原木供給作業等の協業化に取り組む生産者を支援する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年 予算 92,006 47,684 65,04	①生産施設、機械等の導入に 対する補助 38,557 ②林内作業路の整備に対する 補助 8,500 ③原木供給作業の協業化に取 り組む生産者を対象とした 重機の操作研修会の開催 582	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の限	を	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4% 直	3, 854 4, 888 126. 8% 21, 250 20, 129 94. 7%	3, 854 — 26, 200 —	中核的生産者数 事業の 低コスト簡易作業力を支持 内作業を支援を支援を支援を支援すること 成整備を支援すること 成果指	目標値 実蔵 率 成果 の開設や果、原し を受した上回向けたも回向けた生産者の を変した生産者の で、生産者の 標 達成度	I 220 I 222 I 100.9% ・ 今 ック車・バック いたけ生産規模 にかたけ生産規模 組を支援すると 意欲向上を図る	219 221 100.9% 後の ホウ等の導成で 自標を達成で を拡大することもに、輸出 。(翌年度繰越	219 - 方 針 入、散水施設や林 するとともに、中 ことができた。 出拡大に向けた施
No. 23	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~)	①生産施設、機械等の導入に 対する補助 38,557 ②林内作業路の整備に対する 補助 8,500 ③原木供給作業の協業化に取 り組む生産者を対象とした 重機の操作研修会の開催 582	生産施設等整備事業実施原木伏込量低コスト簡易作業路の制	を分 目標係 実績の 実績の 運 目標の 実績の 国 実績の 実績の 実績の 実績の 実績の 実績の 実績の 実績の 実績の 実 実績の 実 実績の 実 に 実 に 実 に 実 に ま に ま に ま に ま に ま に ま ま に ま ま よ よ に ま ま よ よ よ よ	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4% 直 直	3,854 4,888 126.8% 21,250 20,129 94.7%	3, 854 — 26, 200 —	中核的生産者数 事業の 低コスト簡易作業を支持 核的生産者数も目標 引き続き生産規模 設整備を支援すること 成果指 東京オリンピック・	目標値 実蔵 率 成果 の開設や果、原し を を を を を を を を を に を を に を を に を を に を を に た に を 生 に り に を 生 に た に を 生 に を と に を 生 に を 生 に を 生 に を と で 、 を と で 、 を に を を に を を に を を に を を に を と で 、 に を に を に を に を に を に を に を に を と で に を と で に を と で に を と で に を と で に を と で に を と で に を と で に を と で に を と で に を と で に を と で に を と を と で と で と に と を と で と で と で と で と で と で と で と で と で	I 220 I 222 I 100.9% ・ 今 ック車・バック いたけ生産規模 にかたけ生産規模 組を支援すると 意欲向上を図る	219 221 100.9% 後の ホウ等の導でを達成で をを拡大する輸出 (翌年度繰越	219 方 針 入、散水施設や林 するとともに、中 ことができた。 出拡大に向けた施 額 8,250千円)
No. 23	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~) 林産振興 しいたけの生産性向上と増産を図るため、生産基盤の整備に取り組む生産者への支援に加え、担い手の高齢化に対応した生産体制を構業するため、原木供給作業等の協業化に取り組む生産者を支援する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年 予算 92,006 47,684 65,04 決算 91,467 38,800 − 事業名・事業概要・予算額森林認証材供給体制整備事業	①生産施設、機械等の導入に対する補助 38,557 ②林内作業路の整備に対する補助 8,500 ③原木供給作業の協業化に取り組む生産者を対象とした重機の操作研修会の開催 582 「主な事業内容 ①市町村の行う森林認証材の提供に要する経費に対する	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の関 低コスト簡易作業路の関	施分 目標係 実績(「㎡」	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4% 直 直 室 平成30年度	3,854 4,888 126.8% 21,250 20,129 94.7% 令和元年度	3, 854 — 26, 200 —	中核的生産者数 事 業 の 低コスト簡易作業対 内作業車の得数も標標的生産者を支援すること 就整備を支援すること 成 果 指 東京オリンピック選手村へ	目標値 実成率 成 改設 果 ユ 原 し な の 開	 I 220 I 222 I 00.9% ・ 今 ・ ック車・バック ・ 小ク車・バック いたけ生産規制を支援すると意欲向上を図る I 平成30年度 I 25.0 	219 221 100.9% 後の ホウ等の導う 目標を達成さ とともに、輸い (翌年度繰越	219 方 針 入、散水施設や林 ことができた。 出拡大に向けた施 額 8,250千円)
No. 23	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~) 林産振興 しいたけの生産性向上と増産を図るため、生産基盤の整備に取り組む生産者への支援に加え、担い手の高齢化に対応した生産体制を構築するため、原木供給作業等の協業化に取り組む生産者を支援する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年予算 92,006 47,684 65,04決算 91,467 38,800 − 事業名・事業概要・予算額森林認証材供給体制整備事業 (H30 ~ R1) 林産振興	①生産施設、機械等の導入に対する補助 38,557 ②林内作業路の整備に対する補助 8,500 ③原木供給作業の協業化に取り組む生産者を対象とした重機の操作研修会の開催 582 主 な 事 業 内 容 ①市町村の行う森林認証材の提供に要する経費に対する支援	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の 低コスト簡易作業路の 活動指標 木材提供市町村数	施分 目標係 [㎡] 達成。 上標板 上線板 上線板 上線板 上線板 上線板 上線板 上線板 上線板 上線板 上線板	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4% 直 直 室 平成30年度 直 2	3,854 4,888 126.8% 21,250 20,129 94.7% 令和元年度 2	3, 854 — 26, 200 —	中核的生産者数 事業の 低コスト簡易作業を支持 核的生産者数も目標 引き続き生産規模 設整備を支援すること 成果指 東京オリンピック・	目標値に 実成 果 ニ原し取の	 I 220 I 222 I 100.9% ・ 今 ・ ック車・バッ量の模いたけ生産選り機能を支援すると意欲向上を図る I 平成30年度 I 25.0 I 25.4 	219 221 100.9% 後の ホウ等の薄次 をを拡大る ともに、輸い (翌年度繰越 冷和元年度 25.0 22.1	219 方 針 入、散水施設や林 するとともに、中 ことができた。 出拡大に向けた施 額 8,250千円)
No. 23	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~) 林産振興 しいたけの生産性向上と増産を図るため、生産基盤の整備に取り組む生産者への支援に加え、担い手の高齢化に対応した生産体制を構業するため、原木供給作業等の協業化に取り組む生産者を支援する。 区分 平成30年度 令和元年度 令和2年 予算 92,006 47,684 65,04 決算 91,467 38,800 − 事業名・事業概要・予算額森林認証材供給体制整備事業	①生産施設、機械等の導入に対する補助 38,557 ② 株内作業路の整備に対する補助 8,500 ③原木供給作業の協業化に取り組む生産者を対象とした重機の操作研修会の開催 582 主 な 事 業 内 容 ①市町村の行う森林認証材の提供に要する経費に対する支援 2,689	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の 低コスト簡易作業路の 活動指標 木材提供市町村数	 施分 目標係 [m³] 遠域。 [m³] 遠域。 [m] 実績成。 [m] 実績成。 [m] 達成。 [重複係 [重複係 [重複係 [本成長 <l>[本の表長 [本の表長 [本</l>	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4% 直 直 章 章 平成30年度 直 2 平成30年度	3,854 4,888 126.8% 21,250 20,129 94.7% 令和元年度 2	3, 854 — 26, 200 —	中核的生産者数 事 業 の 低コスト簡易作業対 内作業車の導致も産規模 引き続き支援するこ。 成 果 指 東京オリンピック 材提供量	目 実 臓 値 値 実 歳 成 果 ユ 原 し を と に 人 別 数 表 ま り け た を の 関 し を 上 に 取 し を と に で 、 生 産	 I 220 I 222 I 100.9% ・ 今 i 木伏せ込み量機能を支援すると意欲向上を図る E 平成30年度 I 25.0 I 25.4 I 101.6% 	219 221 100. 9% 後 の ホウ等の違成。 をを並なる。 ともに、輸品 令和元年度 25. 0 22. 1 88. 4%	219 - カ 針 大 散水施設や林 するとともに、中 ことができた。 出拡大に向けた施 額 8,250千円)
No.	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~)	①生産施設、機械等の導入に対する補助 38,557 ② 株内作業路の整備に対する補助 8,500 ③原木供給作業の協業化に取り組む生産者を対象とした重機の操作研修会の開催 582 主 な 事 業 内 容 ①市町村の行う森林認証材の提供に要する経費に対する支援 2,689	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の 低コスト簡易作業路の 活動指標 木材提供市町村数	 施分 目標係 (直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4% 直 直	3,854 4,888 126.8% 21,250 20,129 94.7% 令和元年度 2	3, 854 — — 26, 200 — —	中核的生産者数 事 業 の 低コスト簡易作業対 内作業車の事業を連続すること 対対のでは、 果 指 東京オリンピック 材提供量 事 業 の	目実 遠 成 果 ユ 原 し 取 の 開 表 値 値 率 果 ユ 原 し 取 の 関 と を に い 取 の 目 を 変 直 広 大 で 、 生 電	 I 220 I 222 I 100.9% ・ 今 ・ 今 i 本伏せ込み量機能を支援すると意欲向上を図る E 平成30年度 I 25.0 I 25.4 I 101.6% ・ 今 	219 221 100.9% 後のの ホウ等の違成で をを並がることもに、輸い 令和元年度 25.0 22.1 88.4% 後のの おり等の違成で とともに、輸い を立むたし、 を記がたる。	219 - カ か か か か か か か か か か か か か か か か か か
No. 23	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~)	①生産施設、機械等の導入に対する補助 38,557 ② 株内作業路の整備に対する補助 8,500 ③原木供給作業の協業化に取り組む生産者を対象とした重機の操作研修会の開催 582 主 な 事 業 内 容 ①市町村の行う森林認証材の提供に要する経費に対する支援 2,689	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の 低コスト簡易作業路の 活動指標 木材提供市町村数	施分 目標係 (上) 上 上 上 上 上 上 上 上 上	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4% 直 直 重 平成30年度 直 2 率 100.0% 直 直	3,854 4,888 126.8% 21,250 20,129 94.7% 令和元年度 2	3, 854 — — 26, 200 — —	中核的生産者数 事 業 の	目実 達成 果 ニ原し取の 関 に	【 220 22 100.9% 今 今	219 221 100.9% 後 の 市目標を対した、輸出を拡大する。 (翌年度繰越 令和元年度 25.0 22.1 88.4% (次針性)にPRすること (対性)にPRすること (対性)にPRすること	219 - カ 針 入、散水施設や林木するととできた。中ことがでらけた施額 8,250千円) 令和2年度 評価 C 方 針 既ね目標をを成とができた。
No.	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~)	①生産施設、機械等の導入に対する補助 38,557 ② 株内作業路の整備に対する補助 8,500 ③ 原木供給作業の協業化に取り組む生産者を対象とした重機の操作研修会の開催 582 主 な 事 業 内 容 ① 市町村の行う森林認証材の提供に要する経費に対する支援 2,689	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の 低コスト簡易作業路の 活動指標 木材提供市町村数	 施分 目標係 [㎡]	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4% 直 直 至 至 平成30年度 直 2 率 100.0% 直 直	3,854 4,888 126.8% 21,250 20,129 94.7% 令和元年度 2	3, 854 — — 26, 200 — —	中核的生産者数 事 業 の 低コスト簡易作業対 核的生産者数も目標 内作業を支援すること 対 成 果 指 東京オリンピック リンピック オ提供量 事 京オリンピック リンピック も大きな。 東京オリンピック は、東京オリンピック し、本県を完テしたこと 供給を方と に、本県で表すしたこと	目実 達成 果 ニ原し取の 関 に	【 220 22 100.9% 今 今	219 221 100.9% 後 の 市目標を対した、輸出を拡大する。 (翌年度繰越 令和元年度 25.0 22.1 88.4% (次針性)にPRすること (対性)にPRすること (対性)にPRすること	219 - カ 針 入、散水施設や林木するととできた。中ことができた。施 報 8,250千円) 令和2年度 ア 振ね目標をを成とができた。
No.		①生産施設、機械等の導入に対する補助 38,557 ② 株内作業路の整備に対する補助 8,500 ③ 原木供給作業の協業化に取り組む生産者を対象とした重機の操作研修会の開催 582 主 な 事 業 内 容 ① 市町村の行う森林認証材の提供に要する経費に対する支援 2,689	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の 低コスト簡易作業路の 活動指標 木材提供市町村数	を	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4% 直 直 至 平成30年度 直 2 平成30年度	3,854 4,888 126.8% 21,250 20,129 94.7% 令和元年度 2	3, 854 — — 26, 200 — —	中核的生産者数 事 業 の	目実 達成 果 ニ原し取の 関 に	【 220 22 100.9% 今 今	219 221 100.9% 後 の 市目標を対した、輸出を拡大する。 (翌年度繰越 令和元年度 25.0 22.1 88.4% (次針性)にPRすること (対性)にPRすること (対性)にPRすること	219 - カ 針 入、散水施設や林木するととできた。中ことができた。施 報 8,250千円) 令和2年度 ア 振ね目標をを成とができた。
No.	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~)	①生産施設、機械等の導入に対する補助 38,557 ② 株内作業路の整備に対する補助 8,500 ③ 原木供給作業の協業化に取り組む生産者を対象とした重機の操作研修会の開催 582 主 な 事 業 内 容 ① 市町村の行う森林認証材の提供に要する経費に対する支援 2,689	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の 低コスト簡易作業路の 活動指標 木材提供市町村数	 施分 目標係 [㎡]	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4% 直 直 至 平成30年度 直 2 平成30年度	3,854 4,888 126.8% 21,250 20,129 94.7% 令和元年度 2	3, 854 — — 26, 200 — —	中核的生産者数 事 業 の 低コスト簡易作業対 核的生産者数も目標 内作業を支援すること 対 成 果 指 東京オリンピック リンピック オ提供量 事 京オリンピック リンピック も大きな。 東京オリンピック は、東京オリンピック し、本県を完テしたこと 供給を方と に、本県で表すしたこと	目実 達成 果 ニ原し取の 関 に	【 220 22 100.9% 今 今	219 221 100.9% 後 の 市目標を対した、輸出を拡大する。 (翌年度繰越 令和元年度 25.0 22.1 88.4% (次針性)にPRすること (対性)にPRすること (対性)にPRすること	219 - カ 針 入、散水施設や林木するととできた。中ことができた。施 報 8,250千円) 令和2年度 ア 振ね目標をを成とができた。
No.	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~)	①生産施設、機械等の導入に対する補助 38,557 ② 株内作業路の整備に対する補助 8,500 ③ 原木供給作業の協業化に取り組む生産者を対象とした重機の操作研修会の開催 582 主 な 事 業 内 容 ① 市町村の行う森林認証材の提供に要する経費に対する支援 2,689	生産施設等整備事業実施原木伏込量 低コスト簡易作業路の 低コスト簡易作業路の 活動指標 木材提供市町村数	を	直 3,854 直 5,006 率 129.9% 直 22,950 直 26,017 率 113.4% 直 直 至 平成30年度 直 2 平成30年度	3,854 4,888 126.8% 21,250 20,129 94.7% 令和元年度 2	3, 854 — — 26, 200 — —	中核的生産者数 事 業 の 低コスト簡易作業対 核的生産者数も目標 内作業を支援すること 対 成 果 指 東京オリンピック リンピック オ提供量 事 京オリンピック リンピック も大きな。 東京オリンピック は、東京オリンピック し、本県を完テしたこと 供給を方と に、本県で表すしたこと	目実 達成 果 ニ原し取の 関 に	【 220 22 100.9% 今 今	219 221 100.9% 後 の 市目標を対した、輸出を拡大する。 (翌年度繰越 令和元年度 25.0 22.1 88.4% (次針性)にPRすること (対性)にPRすること (対性)にPRすること	219 - カ 針 入、散水施設や林木するととできた。中ことができた。施 報 8,250千円) 令和2年度 ア 振ね目標をを成とができた。

N	0.	事業名	· 事 業	镁概要・	予 算 額	主 な 事	業 内 容	活 動	指 標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成	果 指	標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
	- [ブリ類養殖	業成長産	業化推進事	業	① I C T 技術の		ブリ人工種苗の	の生産尾数	目標値	20,000	20,000	20,000		反店輸出向 f規池入れ		目標値	80,000	200, 000	210,000	
		(H30	~ R2)		水産振興課	産性や飼料系 の検証	効率の向上効果			実績値	17,000	67,000	_	ノリの海	「現心人れ	· 尾	実績値	80,000	160, 000	_	С
	I.				頁養殖業の成	♥ 万俣 血に	7, 486		[尾]	達成率	85.0%	335.0%	_			[尾]	達成率	100.0%	80.0%	_	
					に向けた取 D効率化を図	②ブリ人工種苗	古生産技術の向			目標値				事	業	O E	戈 果	· 今	後(カー方	針
2				技術を活用し		上	4, 187			実績値				本事業のの			等の活用に 数を確保し		れ尾数は目標	標尾数を下回	ったも
				験の実証を行			4, 107			達成率				ブリ人	工種苗生產	産尾数は	目標を上回	団る67,000尾		った。今後も	国研究
		区分 平成	30年度	6和元年度	令和2年度					目標値				機関と連	携し、安定	定した大	量生産技術	所の確立に取	り組んで行く		
		予算	17, 720	11,877	5, 361					実績値											
		決算	10, 746	11,877	_					達成率											
N.T	-	古 光 5	丰 和	· ## ##	マ 佐 姫	ナル事	** 中 泰	JT FL	TH2 THE	生土市	TI	ヘモーケザ	A 5 = 0 /= 1 de	45	H 110	Lass	生生素	ポートロッケード	人和一左右	A Two to the	
N	0.	事業名	1. 7		予 算 額	主な事	業内容	活動	指標	100000	1,77-	令和元年度	1. 1= 1 34	7.7.4	果指	標	達成度			令和2年度	
N	o.	農林水産物	物輸出需要	関拓事業	7 37 115	①輸出拡大・気	定着支援に向け	活 動 輸出延べ品目	111 101	目標値	42	45	1. 1= 1 34	7.7.4	果 指 産物の輸	1241	目標値	24.0	31.0	37. 6	
N	o.	農林水産物 (H28	<u>→</u>	展開拓事業 おおいたブ	ブランド推進課	①輸出拡大・気	717 11 11		数	目標値 実績値	42	45 48	1. 1= 1 34	7.7.4	産物の輸	出額	目標値 実績値	24. 0 24. 6	31. 0 25. 6	37. 6	
N	-	農林水産物 (H28 海外の市場	が 輸出需要 ~) 湯を取り込	早開拓事業 おおいたブ み農林水産業	ランド推進課業者の所得向	①輸出拡大・気 た、大規模で た、大規模で への出展等	E着支援に向け 高談会やフェア 23,044	輸出延べ品目	数 [品目]	目標値 実績値	42	45 48	51	7.7.4	産物の輸	出額	目標値	24.0	31. 0 25. 6	37. 6	
N	-	農林水産物 (H28 海外の市場 上を図るたる	勿輸出需要 ~) 場を取り込め、ブラン	限拓事業 おおいたブ み農林水産業 ドおおいた輔	ブランド推進課 き者の所得向 輸出促進協議	①輸出拡大・対 た、大規模で への出展等 ②新たなマーク	定着支援に向け 高談会やフェア 23,044 アットニーズに	輸出延べ品目	数 [品目]	目標値 実績値	42	45 48	51	農林水	産物の輸業	出額 [億円]	目標値 実績値 達成率 大 果	24. 0 24. 6 102. 5% • 今	31. 0 25. 6 82. 6%	37.6 ————————————————————————————————————	C 針
N	-	農林水産物 (H28 海外の市場 上を図るたる	勿輸出需要 ~) 場を取り込め、ブラン	早開拓事業 おおいたブ み農林水産業	ブランド推進課 き者の所得向 輸出促進協議	①輸出拡大・気 た、大規模で た、大規模で への出展等	E着支援に向け 新談会やフェア 23,044 アットニーズに 出拡大の取組	輸出延べ品目	数 [品目]	目標値 実績値 達成率	42	45 48 106. 7%	51	農林水 事 輸出額	産物の輸業には新型コロ	出額 【億円】 の ほ ロナウイ	目標値 実績値 達成率	24.0 24.6 102.5% ・ 今 (下学)中国	31.0 25.6 82.6% 後 (ゆ)け輸出の容	37.6 - - - の 方 等ち込みや北	C 針 ※向け
N	-	農林水産物 (H28 海外の市場 上を図るたる	勿輸出需要 ~) 場を取り込め、ブラン	関拓事業 おおいたブ み農林水産業 ドおおいた輔	ブランド推進課 き者の所得向 輸出促進協議	①輸出拡大・対 た、大規模で への出展等 ②新たなマーク	定着支援に向け 高談会やフェア 23,044 アットニーズに	輸出延べ品目	数 [品目]	目標値 実績値 声績値 実績値	42 43 102. 4% 3	45 48 106. 7% 3	51 - - 3	農林水 事 輸出ブリ 肉や香港	産物の輸業に対象を表現である。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	出額 「億円」 の 月 ファー・ に で に で に で で に で に で で に で に で に で に	目標値 実績値 達成率	24.0 24.6 102.5% ・ 今 平に伴う中国 等により目標	31.0 25.6 82.6% 後 (向け輸出の容	37.6 - - - の 方 ないが、台湾	C 針 ※向け
N	26	農林水産物 (H28 海外の市場 上を図るたる 会が行う輸品	勿輸出需要 〜) 場を取り込め、ブラン出拡大の取	関拓事業 おおいたブ み農林水産業 ドおおいた輔	ブランド推進課 美者の所得向 輸出促進協議	①輸出拡大・気 た、大規模 た、大規模等 への出展等 ②新たなマーク 対応した輸出	E着支援に向け 新談会やフェア 23,044 アットニーズに 出拡大の取組	輸出延べ品目3 海外での商談: の出展回数 ブランドおおい	数 [品目] 会やフェアへ [回] いた輸出促進	目標値 実績値 声標値 実績値	42 43 102. 4% 3 3	45 48 106. 7% 3	51 - - 3	農林水 事 輸出ブ香 養肉や前年	産物の輸業 業 は新型型 の他世 で向け甘太。 に可け甘太。 に同け甘太。	出額 「億円」 の 「ウイー・ にんの はんんい 増)	目標値 実績値 達成率 以スの競争の がとり がよるの がよるの がよるの がよるの がよるの がよるの がよるの がよるの	24.0 24.6 102.5% ・ 今 平に伴う中国 により目標 により、	31.0 25.6 82.6% 後 向け輸出の容 に達していた 過去最高とな	37.6 - - カ 素ち込みや北 いが、台湾 にった。	針米向け向け牛
N	26	農林水産物 (H28 海外の市場 上を図るたる 会が行う輸品	勿輸出需要 〜) 場を取り込め、ブラン出拡大の取	優開拓事業 おおいたプ み農林水産業 ドおおいた輔 組を支援する	ブランド推進課 美者の所得向 輸出促進協議	①輸出拡大・気 た、大規模 た、大規模等 への出展等 ②新たなマーク 対応した輸出	E着支援に向け 新談会やフェア 23,044 アットニーズに 出拡大の取組	輸出延べ品目乳 海外での商談の出展回数	数 [品目] 会やフェアへ [回] いた輸出促進	目標値 実績成率 目標値 実績値 実績値 実成率	42 43 102. 4% 3 3 100. 0%	45 48 106. 7% 3 3 100. 0%	51 - - 3 - - - 37	農林水事報り港年コの	産物の輸業型産出いる。 業型産出いの向け円収束に 100円収束に 100円収束に 100円収束に 100円収束に 100円収束に 100円収束に 100円収束に 100円収束に 100円収束に 100円収束に 100円収束に 100円収束に 100円収束に 100円収事に 1	出額 [億円] の ナ冷んの増海商が マ・くるのでは、 イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目標値 実績値 達成果 の競の増 がと扱量のが関するのが がある。	24.0 24.6 102.5% ・ 今 でに伴う中国標 により目標によりまでにより、 モーションを が輸出拡大に	31.0 25.6 82.6% 後 の 向け輸出の に達して高 強よ最高とな 強化するPR動向けた取組を	37.6 - - - の 方 ないが、台湾	会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・